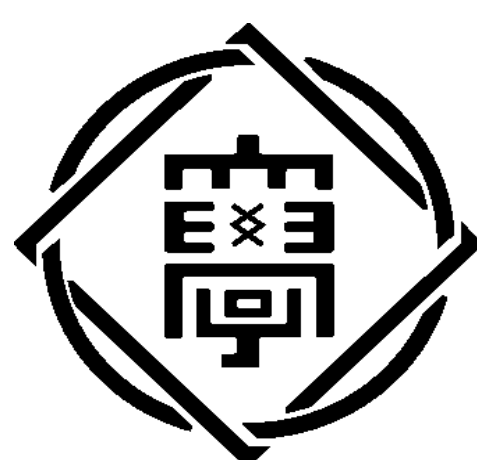


# 学術交流協定締結校一覧

(平成28年10月1日)



鳥取大学国際交流センター  
鳥取大学国際交流課



# 学術交流協定校一覧

大学間協定締結校 (27の国・地域 79機関)

平成28年10月1日現在

	国名・地域名	機関名	
アジア (55)	大韓民国 (11)	忠南大学校	1
		嶺南大学校	1
		韓国海洋大学校	2
		釜慶大学校	2
		江原大学校	3
		春川教育大学校	3
		江陵原州大学校	4
		建国大学校	4
		南ソウル大学校	5
		漢陽大学校	5
		翰林大学校	6
	中華人民共和国 (25)	河北医科大学	6
		中国科学院寒区旱区環境工学研究所	7
		内蒙古農業大学	7
		西安科技大学	8
		内蒙古師範大学	8
		青島大学	9
		北京林業大学	9
		東北大学	10
		中国科学院水利部水土保持研究所	10
		中国科学院遺伝及び発育生物学研究所農業資源研究センター	11
		東北農業大学	11
		中国農業大学	12
		新疆農業大学	12
		北京師範大学	13
		河北大学	13
		中国科学院上海技術物理研究所	14
		中国農業科学院農業環境及び可持続発展研究所	14
		内蒙古大学	15
	上海海洋大学	15	
	上海市農業科学院食用菌研究所	16	
	中国農業科学院農業資源及び農業区画研究所	16	
	中国林業科学研究院	17	
	遼寧大学	17	
	吉林大学	18	
	蘭州大学	18	
	台湾 (2)	銘伝大学	19
		東海大学	19
	モンゴル国 (5)	モンゴル国立農業大学	20
		モンゴル科学アカデミー生物学研究所	20
モンゴル気象水文環境研究所		21	
モンゴル国立大学		21	
モンゴル国立医科大学		22	
フィリピン共和国 (2)	森林生産物開発研究所	22	
	ベンゲット州立大学	23	
シンガポール共和国 (1)	シンガポール国立化学工学研究所	23	
インドネシア共和国 (5)	セベラス・マレット大学	24	
	ディポネゴロ大学	24	
	スラバヤ工科大学	25	
	ムハマディア・ハムカ大学	25	
タイ王国 (2)	ボゴール農科大学	26	
	カセサート大学	26	
ベトナム社会主義共和国	コンケン大学	27	
	フエ大学	27	
ミャンマー連邦共和国 (1)	パテイン大学	28	
北米 (5)	アメリカ合衆国 (4)	ネバダ大学リノ校	28
		カリフォルニア大学デービス校	29
		カリフォルニア大学バークレー校	29
		バーモンド大学	30
カナダ (1)	ウォータールー大学	30	
ヨーロッパ (4)	スペイン (1)	ムルシア大学	31
	イタリア (2)	パトリ地中海農学研究所	31
		ローマ第三大学	32
	ロシア (1)	連邦国家自立高等専門教育機関極東連邦大学	32
中南米 (5)	メキシコ合衆国 (3)	南バハカリフォルニア自治大学	33
		メキシコ北西部生物学研究センター	33
		国立農牧林業研究所	34
	ブラジル連邦共和国 (1)	アマゾン国立研究所	34
エクアドル (1)	沿岸工科大学	35	
オセアニア (1)	西オーストラリア (1)	西オーストラリア大学	35
中東 (2)	トルコ共和国 (1)	ムスタファ ケマル大学	36
	レバノン (1)	国際乾燥地農業研究センター	36
アフリカ (7)	スーダン共和国 (2)	スーダン農業研究機構	37
		ハルツーム大学	37
	エジプト・アラブ共和国 (1)	国立水研究センター	38
	チュニジア共和国 (1)	乾燥地域研究所	38
	エチオピア連邦民主共和国 (1)	バハルダール大学	39
ケニア共和国 (1)	ジョモケニヤッタ農工大学	39	
ウガンダ共和国 (1)	マケレレ大学	40	

部局間協定締結校（12ヶ国16機関）

	国名	機関名	
アジア (9)	大韓民国(1)	延世大学校原州医科大学	41
	中華人民共和国(2)	大連理工大学 機械工程学院	41
		厦門大学人文学院	42
	インドネシア共和国(2)	バンドン工科大学リモートセンシングセンター	42
	フィリピン共和国(1)	パダン州立大学	43
ネパール(3)		サンラサロ病院	43
		ティルガンガ眼科研究所	44
		ルンビニ眼研究所	44
ヨーロッパ(4)	フィンランド共和国(1)	B. P. コイララ健康科学大学	45
	フィンランド共和国(1)	フィンランド国立技術研究所	45
	イギリス(1)	アストン大学工学応用科学部	46
	スペイン王国(1)	バレンシア工科大学工業化学研究所	46
北米(2)	ロシア連邦(1)	太平洋国立医科大学	47
	アメリカ合衆国(1)	ライス大学工学部	47
	カナダ(1)	サイモンフレイザー大学応用科学部	48
中東(1)	イスラエル国(1)	エルサレム・ヘブライ大学ロバートH. スミス農業食料環境科学	48

鳥取大学では現在、学術交流協定を31の国・地域95機関と締結しています。

※ 網掛け部は、学生交流に関する覚書締結機関

# 大学間協定締結校

# 忠南大学校

Chungnam National University

国名・地域名	大韓民国				
住所	大韓民国大田広域市儒城区弓洞220, 305-764				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://plus.cnu.ac.kr/kor/">http://plus.cnu.ac.kr/kor/</a>				
協定締結年月日	1987年5月20日				
協定更新年月日	なし				
有効期限	なし				
覚書締結年月日	1994年9月1日				
覚書更新年月日	2009年8月26日				
有効期限	なし				
交換学生数	5名以内				
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・田村文男				
締結経緯	1985年度から、忠南大学校農科大学の教授を研究のために農学部を受け入れており、また1986年から日本学術振興会の援助により、本学の教員を含む日本の国立数大学の教員と大韓民国の忠南大学校等数機関の教授等による国際共同研究が実施されたことから、交流協定に発展した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	93	28	75	266
	2011年度		2		8
	2012年度	5	18		4
	2013年度		2		2
	2014年度		1	2	4
2015年度			14	24	

# 嶺南大学校

Yeungnam University

国名・地域名	大韓民国				
住所	大韓民国慶北慶山市大洞214-1, 712-749				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www.yu.ac.kr/">http://www.yu.ac.kr/</a>				
協定締結年月日	1990年7月1日				
協定更新年月日	なし				
有効期限	なし				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・檜谷治				
締結経緯	工学部の道上教授が大韓民国で開かれた学会に出席し、嶺南大学校の李舜鐸教授と知り合い、その後親交を深めていたが、その李舜鐸教授が1989年9月に来学し、学長、工学部長を表敬訪問。その際、協定締結を両大学で提案したことにより、締結への気運が高まり、1990年5月に道上教授が再度嶺南大学校を訪問し締結の合意に達した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	24		25	5
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					

# 韓国海洋大学校

Korea Maritime and Ocean University

国名・地域名	大韓民国				
住所	大韓民国釜山広域市影島区東3洞1				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.kmaritime.ac.kr">http://www.kmaritime.ac.kr</a>				
協定締結年月日	1992年12月1日				
協定更新年月日	なし				
有効期限	なし				
覚書締結年月日	1995年10月1日				
覚書更新年月日	2003年3月13日				
有効期限	なし				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・松原雄平				
締結経緯	大学院工学研究科海洋土木学専攻に韓国船舶問題研究員の金昌済氏が大学院生として1990年4月から2年間在学したのを機に、海洋土木学専攻の教員と同氏の出身校である韓国海洋大学校理工大学の教授間の交流が始まった。1992年4月に工学部の野田教授と木村教授が招聘を受け、海洋構造物等に関する講演及び討論を行った際に、調整を図り、合意に達した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	37	17	35	241
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
2014年度					
2015年度					

# 釜慶大学校

Pukyong National University

国名・地域名	大韓民国				
住所	釜山広域市南区大淵洞599-1				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.pknu.ac.kr">http://www.pknu.ac.kr</a>				
協定締結年月日	1994年10月1日				
協定更新年月日	2012年1月29日				
有効期限	2017年1月28日				
覚書締結年月日	2003年2月14日				
覚書更新年月日	2012年1月29日				
有効期限	2017年1月28日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・松原雄平				
締結経緯	工学部土木工学科を中心に以前から交流があり、同学科の松原助教授が1992年5月から10ヶ月間客員教授として釜山水産大学校に滞在して以来本格的な交流に発展。1993年2月からは1年間尹吉秀教授が鳥取大学に滞在、また1994年3月に本学で開催された日韓水産セミナーに柳青魯教授を招聘するなどの人的交流が行われ、交流進展のため協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	38	23	59	89
	2011年度	1	6		10
	2012年度		8	1	5
	2013年度	2	5		5
2014年度	1	4		3	
2015年度	2	3		1	



# 江原大学校

Kangwon National University

国名・地域名	大韓民国				
住所	春川市孝市2洞192-1				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.kangwon.ac.kr">http://www.kangwon.ac.kr</a>				
協定締結年月日	1996年6月27日				
協定更新年月日	3年ごとに自動更新				
有効期限	3年ごとに自動更新				
覚書締結年月日	1998年5月15日				
覚書更新年月日	3年ごとに自動更新				
有効期限	3年ごとに自動更新				
交換学生数	毎年10名以内				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・准教授・増田貴則				
締結経緯	「環日本海交流」の一環として、鳥取県と同県が姉妹提携している韓国・江原道の両自治体の働きかけにより、1996年1月23日、江原大学校文総長、金国際部長、韓林科大学長が本学を訪問し、高橋学長、笹田教育学部長、道上工学部長、作野農学部長と学術交流協定の締結を含めた意見交換をし、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	68	105	33	98
	2011年度		2	1	7
	2012年度	6	23		9
	2013年度	2	6		13
	2014年度	9	15	5	8
2015年度	6		19	38	

# 春川教育大学校

Chuncheon National University of Education

国名・地域名	大韓民国				
住所	江原道春川市碩土洞339番地				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.cnue.ac.kr">http://www.cnue.ac.kr</a>				
協定締結年月日	2003年12月24日				
協定更新年月日	2013年12月20日				
有効期限	2018年12月19日				
覚書締結年月日	2005年2月17日				
覚書更新年月日	2008年12月24日				
有効期限	2018年12月19日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・教授・足立和美				
締結経緯	1997年に本学教育学部附属小学校と春川教育大学校附属初等学校は姉妹校協定を締結して以来毎年相互に訪問し、文化交流、ホームステイ、交流給食等を実施するなどの交流実績を有している。2004年に開設した地域学部は、東北アジア地域を国際的な主な研究フィールドとして設定していることなどから、この交流を大学間に発展させるべく、2003年10月に永山教育地域科学部長、若留学センター長他1名が春川教育大学校で李総長と大学間の交流について話し合いを行い、締結の合意に至った。また、2003年12月24日春川教育大学校李在鳳総長他2名が来学、学術交流協定を締結した。さらに、学生の交流を進めるべく、2004年12月3日、春川教育大学校李在鳳総長他2名が来学し、学長との懇談、地域学部長及び関係教員との打合せを行い、覚書を締結することに合意した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	18	29	9	24
	2011年度	1	5	3	
	2012年度	1	5		
	2013年度	11	6		
	2014年度				
2015年度	4				



# 江陵原州大学校

Gangneung -Wonju National University

国名・地域名	大韓民国				
住所	江原道江陵市池辺洞1 2 3 番地				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://kangnung.ac.kr">http://kangnung.ac.kr</a>				
協定締結年月日	2005年7月6日				
協定更新年月日	2015年7月15日				
有効期限	2020年7月14日				
覚書締結年月日	2006年3月6日				
覚書更新年月日	2015年7月15日				
有効期限	2020年7月14日				
交換学生数	5名以内				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・松原雄平				
締結経緯	江陵大学校で開催されたサマーキャンプの学生向けプログラムに、鳥取大学から2003年、2004年と引き続き派遣するなどの交流があった。2004年9月に江陵大学校の黄教授が鳥取県を訪れ、本大学の若国際交流センター長と会談した折、今後の具体的な交流内容が提案された。2005年3月に特別講演を行うため工学部・松原教授が江陵大学校に招聘され、その時、共同研究の推進、学科学生同士の交流等も積極的に推進しようという合意に達し、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	3	6	5	24
	2011年度				3
	2012年度				4
	2013年度	1			4
	2014年度				4
2015年度				4	

# 建国大学校

Konkuk University

国名・地域名	大韓民国				
住所	ソウル特別市広津区華陽洞1番地				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www.konkuk.ac.kr">http://www.konkuk.ac.kr</a>				
協定締結年月日	2005年12月27日				
協定更新年月日	2010年12月14日				
有効期限	2015年12月13日 ※再締結の手続き中(地域学部)				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	地域学部				
窓口教員	農学部・教授・田村純一				
締結経緯	鳥取県の害獣対策の一環として、駆除獣の有効利用法の開発のため、鳥取大学 田村純一教授（地域学部）、保坂善真教授（農学部）、澤田廉路特命准教授（元地域学部、現在学長室）、清水克彦准教授（産学・地域連携推進機構）と建国大学校 李致鎬教授、金守基教授（動物生命科学大学）、全炳台教授（医療生命科学大学）ほか関連の教員や研究者が情報交換や現場視察、共同研究等をこれまで密に実施してきた。具体的な交流状況は以下のとおり。 2013年12月 鹿茸研究専門家の全教授を澤田が鳥取大に紹介 2014年1月 全教授と金教授が鳥取大訪問 意見交換 2015年3月 田村、保坂、澤田、清水が建国大訪問 意見交換 2015年8月 田村と保坂が建国大訪問 共同研究実施 2015年11月 李教授が鳥取大訪問 意見交換				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度			5	
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度	1			
	2014年度	3			
2015年度	5		1		

# 南ソウル大学校

Namseoul University

国名・地域名	大韓民国				
住所	天安市成歡邑梅珠里21				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www.nsu.ac.kr/html/main/main.html">http://www.nsu.ac.kr/html/main/main.html</a>				
協定締結年月日	2011年3月31日				
協定更新年月日	2016年4月11日				
有効期限	2021年4月10日				
覚書締結年月日	2011年3月31日				
覚書更新年月日	2016年4月11日				
有効期限	2021年4月10日				
交換学生数	毎年10名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・准教授・田川公太郎				
締結経緯	平成18年2月、愛媛大学で開催された国際シンポジウム会場において、南ソウル大学の安副教授から若国際交流センター長に、日本海側で問題となっている韓国からの海洋漂着ゴミの回収作業への協力要請を受け、同年6月、南ソウル大学と鳥取大学の共同事業として実施した。本事業は、山陰ジオパーク地域を中心に今年まで継続実施されている。この間、南ソウル大学独自で鳥取大学のキャンパス清掃を実施するほか、農学研究科に1名、国際交流センター主催の夏季短期日本語・日本文化プログラムに1名の学生を派遣している。鳥取大学の南ソウル大学の教育活動に対する協力に対し、平成22年6月、南ソウル大学孔貞子総長より鳥取大学能勢隆之学長に感謝の意が表されると共に、今後、両大学の教育・研究と学生の交流を図るため、学術交流協定を締結したい旨の申し出がなされた。南ソウル大学としては、日本語、日本文化に関心のある学生が多いことから、先ず、地域学部を中心に交流を進め、その後、全学的な交流へ拡大するよう希望している。これまでの交流は、地域学部を中心として交換留学や短期のフィールドワーク研修による相互学生交流、教員を含めた大学間交流が着実に実施されてきている。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	2		10	69
	2011年度	4	12		38
	2012年度	4	19		47
	2013年度	2	8		45
	2014年度	1	6		31
2015年度	1	2	1	27	

# 漢陽大学校

Hanyang University

国名・地域名	大韓民国				
住所	大韓民国 ソウル特別市 城東区 杏堂洞 17				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www.hanyang.ac.kr/">http://www.hanyang.ac.kr/</a>				
協定締結年月日	2012年7月23日				
協定更新年月日	2017年7月22日				
有効期限	2017年7月22日				
覚書締結年月日	2012年7月23日				
覚書更新年月日	2017年7月22日				
有効期限	2017年7月22日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学部・准教授・竹内裕美				
締結経緯	双方の教員個人の学術交流に端を発し、2011年12月頃、漢陽大学校から医学生の鳥取大学附属病院見学の受入について要望があり、2012年1月末から2月中旬まで3名の学生を病院見学として受け入れた。今後もこのような交流を続けていくことに双方の同意が得られ、今回の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2011年度				
	2012年度	5			5
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					



# 翰林大学校

Hallym University

国名・地域名	大韓民国				
住所	大韓民国 江原道 春川市 翰林大学路39番地				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www.hanyang.ac.kr/">http://www.hanyang.ac.kr/</a>				
協定締結年月日	2014年8月12日				
協定更新年月日	2016年7月25日				
有効期限	2021年7月24日 【2016年7月の更新時に部局間協定から大学間協定に変更】				
覚書締結年月日	2012年7月23日				
覚書更新年月日	2016年7月25日				
有効期限	2021年7月24日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・准教授・柳 静我				
締結経緯	<p>2014年度に鳥取大学地域学部と翰林大学校人文大学日本語学科との間で相互的な「語学・歴史・文化研修プログラム」を開始するにあたり、「学術交流協定書」並びに「学生の交流に関する覚書」を交わし、協定を締結した。以来、翰林大学校での研修プログラム1回（2014年度1回、鳥取大学生23名参加、2015年度はMERSのため中止）、鳥取大学での研修プログラム3回（2014年度1回、2015年度2回、翰林大学校生合計63名参加）を実施している。2016年度は、翰林大学校で研修プログラムを行うほか（8月下旬を予定）、鳥取大学で、翰林大学校・中国廈門大学人文学院・台湾高雄師範大学合同で8月上旬に新たな研修プログラムを実施する予定である。教員間の学術交流に関しても、鳥取大学地域学部で翰林大学校教授4名（2014年度史学科教授1名、2015年度史学科教授1名、経営大学教授1名、工科大学教授1名）が講演を行っている。翰林大学校との交流は順調に進んで、今や東アジア大学間交流に発展しつつある。</p> <p>翰林大学校との交流は、当初から学術交流・学生間交流ともに日本語学科の枠を越えてスタートしたが、2016年度は8月の新研修プログラムに経営大学からも参加が予定されており、交流は全学的な規模に発展する見込みである。そのため「学術交流協定書」と「学生の交流に関する覚書」を大学間で締結する。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2014年度			1	
2015年度			3	37	

# 河北医科大学

Hebei Medical University

国名・地域名	中華人民共和国					
住所	河北省石家荘市中山東路361号					
設置形態	国立					
ホームページ	<a href="http://www.hembu.edu.cn/">http://www.hembu.edu.cn/</a>					
協定締結年月日	1987年5月20日					
協定更新年月日	1996年7月1日					
有効期限	なし					
覚書締結年月日	1998年12月5日					
覚書更新年月日	2010年12月25日					
有効期限	なし					
交換学生数	毎年3名以内					
中心部局	医学部					
窓口教員	医学部・教授・河合康明					
締結経緯	<p>双方の教員個人の電子顕微鏡を通じての学術交流に端を発し、1985年10月頃河北医学院から交流協定の締結について強い要望があり、1986年11月河北医学院の呉院長一行が来学し、学長・医学部長と会談され、翌年に協定を締結した。1986年6月に鳥取県も河北省と友好県省となった。</p>					
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数		
		教職員	学生	教職員	学生	
		～2010年度	13		42	50
		2011年度				
		2012年度			2	
		2013年度				
2014年度						
2015年度						

# 中国科学院寒区旱区环境工程研究所

Cold and Arid Regions Environment and Engineering Research Institute, CAS

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	甘肅省蘭州市東岡西路260号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.casnw.net/default_1.asp">http://www.casnw.net/default_1.asp</a>				
協定締結年月日	1987年9月16日				
協定更新年月日	2007年9月13日				
有効期限	なし ※機関名称変更予定				
覚書締結年月日	2007年9月13日				
覚書更新年月日	なし				
有効期限	なし				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	農学部附属砂丘利用研究施設の教員数名が1986年度文部省科学研究補助金により同研究所で「中国における砂漠の農業水利開発に関する調査研究」を行ったことなどから、1987年5月に農学部と同研究所との間に日中共同研究協定書が締結され交流協定に至った。中国科学院蘭州沙漠研究所の再組織化に伴う名称改正により、学術交流協定を再締結した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	34	22	26	18
	2011年度	3	5		2
	2012年度	3	3		2
	2013年度	6	1		2
2014年度	7	2			
2015年度	2		6	9	

# 内蒙古農業大学

Inner Mongolia Agricultural University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	内蒙古自治区呼和浩特市新城区昭烏達路306号				
設置形態	自治区立				
ホームページ	<a href="http://www.imau.edu.cn/">http://www.imau.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	1987年12月1日				
協定更新年月日	2014年8月1日				
有効期限	2019年7月31日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・長澤良太				
締結経緯	1987年12月内蒙古林学院とそれぞれ学術交流協定を締結し、その間、教員又は研究者並びに学生との相互による活発かつ有益な交流がなされてきた。1999年4月に内蒙古林学院と内蒙古農業大学とが合併し、内蒙古農業大学と名称が改められたが、引き続き、内蒙古農業大学と学術交流協定の再締結をし、さらに一層の充実、発展を期したい。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	17	5	24	45
	2011年度	2	5	1	
	2012年度	1	6		
	2013年度	2			
2014年度					
2015年度					

# 西安科技大学

Xi'an University of Science and Technology

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	陝西省西安市雁塔路58号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.xust.edu.cn/">http://www.xust.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	1993年6月1日				
協定更新年月日	2015年1月31日				
有効期限	2020年2月28日				
覚書締結年月日	1995年10月1日				
覚書更新年月日	2015年1月31日				
有効期限	2020年2月28日				
交換学生数	毎年4名以内				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・李相錫				
締結経緯	工学部土木工学科に1989年10月から同学院の講師王鉄成氏を研究生として受け入れたのを機に教員同士の交流が始まった。かねてより学術発展のための本大学との学術交流の締結の希望があり、1991年9月～10月にかけて土木工学科の西林新蔵教授が中国エネルギー省の招聘でコンクリート構造物の維持管理及び耐久性に関する講演・討論を行うために同学院を訪問した際、交流の具体化について打合せを行った。1992年9月には、西安鉱業学院から揚恒青副院長ほか3名の一行が鳥取大学を訪問し、学術協定の具体化について相互の調整を図りおおよその協定書案の合意を得た。その後、西安鉱業学院から西安科技大学に名称変更に伴い2000年2月に再協定を締結した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	17	8	14	20
	2011年度	1			
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度				
2015年度	2				

# 内蒙古師範大学

Inner Mongolia Normal University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	内蒙古自治区呼和浩特市新城区昭烏達路295路				
設置形態	自治区立				
ホームページ	<a href="http://www.imnu.edu.cn/">http://www.imnu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	1997年6月1日				
協定更新年月日	2012年5月30日				
有効期限	2017年5月29日				
覚書締結年月日	2005年8月10日				
覚書更新年月日	2012年5月30日				
有効期限	2017年5月29日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・教授・永松大				
締結経緯	1985年4月に鳥取大学農学部附属砂丘利用研究施設と内蒙古林業科学研究院が内蒙古砂漠開発研究院が共同研究で内蒙古砂漠開発研究会を設立。この中に内蒙古師範大学地理学部の林儒耕教授が参加しており、その後、研究員として鳥取大学に來学した。その後も、交流は継続され、1994年内蒙古師範大学地理学部の卒業生が本学教育学研究科に私費留学生として入学したことを契機に交流が始まり、1997年6月に交流協定を締結した。2005年、独立行政法人日本学生支援機構の短期留学推進制度に内蒙古師範大学の候補学生が採用され、これを機に学生交流に関する覚書の締結をすることとした。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	17	29	9	66
	2011年度	2		1	7
	2012年度	3			6
	2013年度			1	3
	2014年度				3
2015年度			1	7	



# 青島大学

Qingdao University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	山東省青島市寧夏路38号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.qdu.edu.cn/">http://www.qdu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	1998年2月1日				
協定更新年月日	2013年2月1日				
有効期限	2018年1月31日				
覚書締結年月日	1999年3月22日				
覚書更新年月日	2013年2月1日				
有効期限	2018年1月31日				
交換学生数	毎年3名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学部・教授・長谷川純一				
締結経緯	鳥取大学医学部神鳥文雄名誉教授は、1942年から1946年にかけて青島医学院の教授として教育と研究にあっていた。青島大学医学部ではかねてから本学医学部との交流に関して強い希望があった。1995年に本学保健管理センター石飛所長が青島大学を訪問。1997年に青島大学医学部副院長の唐明教授及び元鳥取大学外国人研究者として医学部附属脳幹性疾患研究施設脳神経小児科部門で受入をしていた李国榮氏が高橋学長、竹下医学部長及び玉井附属病院長を表敬訪問し、両大学の学術交流協定締結についての意見交換が行われた。その後も両大学間で交流協議が進められ、学術交流協定の締結について合意に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	5		16	24
	2011年度				
	2012年度			1	
	2013年度			1	
	2014年度				2
2015年度					

# 北京林業大学

Beijing Forestry University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	北京市海淀区清華東路35号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.bifu.edu.cn/">http://www.bifu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	1998年8月1日				
協定更新年月日	2013年8月28日				
有効期限	2018年8月27日				
覚書締結年月日	2007年12月17日				
覚書更新年月日	2013年8月28日				
有効期限	2018年8月27日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・山中典和				
締結経緯	北京林業大学との交流は、1980年代に留学生を受け入れたことに始まる。その後、1995年7月に乾燥地研究センターの玉井重信教授、山中典和講師が同大学を訪問したことがきっかけで、翌1996年9月に玉井重信教授が招待され特別講義を行った。その際に同大学長から協定の締結について打診され、その後の交流を経て、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	22	4	6	41
	2011年度				10
	2012年度	5			9
	2013年度		9		9
	2014年度		1		9
2015年度		2		9	

# 東北大学

Northeastern University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	遼寧省瀋陽市和平区文化路3-11号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.neu.edu.cn/">http://www.neu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2000年2月1日				
協定更新年月日 (有効期限)	2014年12月24日 2019年12月23日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日 有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・陳中春				
締結経緯	1998年に東北大学の王磊助教授が本学工学部の講師として着任した。同年10月に本学工学部の早川教授と教育学部の若教授が東北大学を訪問し、相手側実務の代表者と会談し、両大学の交流について大筋に合意し、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	8	10	2	4
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				1
2014年度	6	15			
2015年度					

# 中国科学院水利部水土保持研究所

Institute of Soil and Water Conservation, Chinese Academy of Sciences & Ministry of Water Resources

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	陝西省西安市楊陵区西農路26号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.iseac.ac.cn">http://www.iseac.ac.cn</a>				
協定締結年月日	2000年10月1日				
協定更新年月日 有効期限	2015年6月12日 2020年6月11日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日 有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・山中典和				
締結経緯	本学与中国科学院水利部水土保持研究所との交流は1988年から東京大学と同研究所が文部省科学研究費による共同研究を開始し、その一員として当時東京大学農学部附属農場に在籍していた稲永助教授が参画していたことに始まる。その後、稲永教授が乾燥地研究センターに移動してからも同研究所と共同研究を盛んに実施するなどして、本学と同研究所との間に協定締結の気運が高まり、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	367	86	93	2
	2011年度	4	4	1	
	2012年度	1	2		
	2013年度	3			
2014年度	3			1	
2015年度	2				



# 中国科学院遺伝及び发育生物学研究所 農業資源研究センター

Center for Agricultural Resources Institute of Genetics and Development Biology, CAS

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	河北省石家荘市槐中路286号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.siziam.ac.cn">http://www.siziam.ac.cn</a>				
協定締結年月日	2000年11月3日				
協定更新年月日	2015年9月1日				
有効期限	2020年8月31日				
覚書締結年月日	2010年11月2日				
覚書更新年月日	2015年9月1日				
有効期限	2020年8月31日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・准教授・安萍				
締結経緯	本学と中国科学院石家荘農業現代化研究所との交流は、1990年から東京大学と同研究所が文部省科学研究費による共同研究を開始し、その研究組織の一員として、乾燥地研究センターの稲永助教授が5年間研究に参加したことに始まる。さらに、同研究所の馬永清助教授、安助手を受入れ、稲永教授の指導の下で研究を行った。また、農学部の藤山教授、山田助手も同研究所と共同研究を行う等しており、双方で協定締結の気運が高まり、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	35	12	7	1
	2011年度				
	2012年度	1		2	
	2013年度	1			
2014年度	1				
2015年度	1				

# 東北農業大学

Northeast Agricultural University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	黒龍江省ハルビン市香坊区木材街59号				
設置形態	省立				
ホームページ	<a href="http://www.neau.cn/">http://www.neau.cn/</a>				
協定締結年月日	2003年3月27日				
協定更新年月日	2013年3月25日				
有効期限	2018年3月24日				
覚書締結年月日	2003年3月27日				
覚書更新年月日	2013年3月25日				
有効期限	2018年3月24日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・准教授・田川公太郎				
締結経緯	東北農業大学は、国際交流を教育・研究理念の柱として、日本、ロシアなど環日本海諸国との交流を積極的に進めている。日本の大学については、2002年までに新潟大学及び東京農工大学と大学間交流協定を締結していたが、東北農業大学はさらに日本との交流を強化するために、日本海に面した西日本地域との大学間交流協定締結を希望していた。東北農業大学の工学部長である李文哲教授が1994年から1997年まで本学工学研究科に在籍していたこともあり、東北農業大学から環日本海地域を主要な研究領域としている教育地域科学部(現地域学部)に協定締結について提案された。併せて、若教授によって東北農業大学での講演及び同大学の現状調査がなされた。同大学と本学地域教育科学部(現地域学部)の教育・研究理念は地域連携・国際交流等共通点も多いため、交流の成果も期待されることから締結の合意に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	55	34	32	52
	2011年度				2
	2012年度				3
	2013年度	2	4		3
2014年度	1	5	1	2	
2015年度				5	

# 中国農業大学

China Agricultural University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	北京市海淀区清華東路17号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.cau.edu.cn/">http://www.cau.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2003年6月16日				
協定更新年月日	2013年6月14日				
有効期限	2018年6月13日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・山本定博				
締結経緯	1986～1990年にトヨタ財団助成で、農学部の藤山教授ら本学の教員と中国の研究者で共同研究を実施し、そのとき中国側の責任者として参加していた現在中国農業大学副教授の李品芳氏と藤山教授との交流が始まった。その後、李氏と藤山教授は相互に訪問し、李氏は本学で博士課程を修了、また、中国政府派遣研究員として研究を行った他、郭世文氏も本学で博士課程を修了した。また、2002年には本学から農学部の学生が同大学に留学する等、活発な交流を実施し、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	30	16	6	1
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
2014年度	2				
2015年度			1		

# 新疆農業大学

Xin-jiang Agricultural University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	新疆烏魯木齊市南昌路42号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.xjau.edu.cn/">http://www.xjau.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2005年2月17日				
協定更新年月日	2015年2月16日				
有効期限	2020年2月15日				
覚書締結年月日	2013年3月29日				
覚書更新年月日	2015年2月16日				
有効期限	2020年2月15日				
交換学生数	毎年3名以内				
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・山中典和				
締結経緯	1999年度に新疆農業大学から齊曼尤努斯副教授を外国人研究者として鳥取大学乾燥地研究センターに受け入れたことをきっかけに両大学間の交流が始まった。2001年度からは日本学術振興会の拠点大学方式学術交流事業において、中国側の協力大学として参加している同大学の研究者との共同研究を中心として、継続して交流を行っている。2004年8月には、稲永乾燥地研究センター長をはじめとする教職員8名が同大学を訪問し、雫秋江学長等と学術交流を行うとともに、学術交流協定締結することに合意した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	84	8	33	1
	2011年度	2	6		
	2012年度	3			
	2013年度	3			
2014年度			1		
2015年度			1		

# 北京師範大学

Beijing Normal University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	北京市海淀区新街口外大街19号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.bnu.edu.cn/">http://www.bnu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2005年7月13日				
協定更新年月日	2015年6月8日				
有効期限	2020年6月7日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・准教授・安萍				
締結経緯	1999年に乾燥地研究センター神近教授が、北京師範大学の顧衛助教授と「自然エネルギー利用による造水」について学术交流を行ったことをきっかけとして交流が始まり、客員助教授や国費留学生の受入れ等を重ねた。2001年には拠点大学方式学术交流事業が始まり、北京師範大学の□芳華教授が中国側研究者として参加した。2004年12月に、稲永教授外5名が北京師範大学を訪問し、史培軍副学長と両大学の学术交流について、検討・意見交換をし、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	9	7	3	4
	2011年度				
	2012年度	1			
	2013年度				
2014年度	1				
2015年度					

# 河北大学

Hebei University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	中国河北省保定市54東路180号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.hbu.net.cn/en/">http://www.hbu.net.cn/en/</a>				
協定締結年月日	2006年6月16日				
協定更新年月日	2016年6月15日				
有効期限	2021年6月14日				
覚書締結年月日	2010年3月15日				
覚書更新年月日	2016年6月15日				
有効期限	2021年6月14日				
交換学生数	毎年3名以内				
中心部局	国際交流センター				
窓口教員	国際交流センター・准教授・崎原麗霞				
締結経緯	2005年12月20日、JBIC(日本国際協力銀行)開発第2部(中国・モンゴル・ベトナム・ラオス・カンボジア・バングラデシュ・スリランカ担当)北野次長及び鳥取県吉川国際課長等3名が本学を訪問し、2006年から河北省などを対象に開始する中国内陸部人材育成事業に鳥取県及び本学に対して事業への企画段階からの参画を依頼。本学では、直ちに国際戦略企画推進室会議等を開催し、JBICや鳥取県担当者等と協議を進め、河北省等研修計画調査(2006年2月7日～13日実施)から参画することとした。研修計画調査で岩崎研究・国際交流担当理事、若国際交流センター長外2名が河北省を訪れた際、河北大学副校長・王俊祥氏等と対談し、両大学の共同研究や人材育成事業への協力及び今後交流可能な分野等について協議し、学术交流協定締結の合意に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	13	13	30	4
	2011年度	1	13		
	2012年度	1	10		3
	2013年度				6
2014年度		1		3	
2015年度		2		5	



# 中国科学院上海技術物理研究所

Shanghai Institute of Technical Physics, CAS

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	上海市玉田路500号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.sitp.ac.cn/">http://www.sitp.ac.cn/</a>				
協定締結年月日	2006年11月13日				
協定更新年月日	2011年11月13日				
有効期限	2016年11月12日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・岸田悟				
締結経緯	2004年4月に、日本セラミック（株）谷口社長から道上学長（当時）に、中国科学院との交流の橋渡しをした いと申し出があったことをきっかけとし、2004年11月に副井工学部長と逢坂教授が上海技術物理研究所 （SITP）を訪問し、今後の交流について協議した。2005年10月にSITPより王建宇所長と楽秀海前所長（上海日 セラセンサー副社長）が鳥取大学を訪問し、交流推進の意向が示された。翌2006年5月にSITP研究者及び前所 長が鳥取大学を訪問し、講演会、研究室訪問、意見交換等を行い、協定締結の合意に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	4		3	
	2011年度				1
	2012年度	1			
	2013年度				
2014年度			2		
2015年度					

# 中国農業科学院農業環境及び可持続発展研究所

Institute of Environment and Sustainable Development in Agriculture, CAAS

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	北京市海淀区中関村南大街12号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.ieda.org.cn">http://www.ieda.org.cn</a>				
協定締結年月日	2006年12月8日				
協定更新年月日	2011年12月8日				
有効期限	2016年12月7日 ※更新予定				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・山本定博				
締結経緯	中国農業科学院農業環境及び可持続発展研究所に勤務する宋吉青氏は1992～1997年に鳥取大学に留学し博士 号を取得し、1998年には外国人研究者として引き続き本学で研究を行った。また、2004年には神近乾燥地研 究センター長が、2005年には小林副学長が同研究所を訪問、2006年には藤山教授がJICA日中可持続農業技術 研究プロジェクトの短期専門家として同研究所において宋吉青氏と共同研究の打合せを行う等活発な交流が あり、この度協定締結の合意に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	21	4	7	
	2011年度	4	1	3	
	2012年度	4		1	
	2013年度				
2014年度			2	8	
2015年度					

# 内蒙古大学

Inner Mongolia University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	中国内蒙古自治区呼和浩特市大学西路235号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.imu.edu.cn/">http://www.imu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2008年4月19日				
協定更新年月日	2013年4月19日				
有効期限	2018年4月18日				
覚書締結年月日	2008年4月19日				
覚書更新年月日	2013年4月19日				
有効期限	2018年4月18日				
交換学生数	毎年3名以内				
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・能美誠				
締結経緯	現在、内蒙古大学工会の副主席を務める郭世明氏は、1993～1994年度に鳥取大学大学院修士課程農学研究科に在学した経歴をもつ。郭世明氏は修士課程終了後に帰国し、1995年から内蒙古大学に勤務している。その後、2006年より、学術交流協定の締結に関する検討を、国際交流センターの若良二センター長と郭世明氏との間で開始している。学内での調整協議の結果、農学部の能美教授が内蒙古大学との学術交流協定締結に関する対応教員となることが決まり、2007年9月に若国際交流センター長と能美教授が内蒙古大学を訪問して、学術交流協定締結や共同研究の可能性について意見交換を行った。学術交流協定の締結に対して、内蒙古大学は強い関心を持っており、また内蒙古大学は内蒙古自治区内で唯一、中国の重点大学にも指定されている総合大学であることから、学術交流協定の締結は、本学の国際学術研究や教職員・学生の国際交流の発展にとっても大きな意義があるため、今回、学術交流協定締結の運びとなった。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	12		1	1
	2011年度	3		5	
	2012年度	3	1		3
	2013年度		2		3
	2014年度	2			
2015年度	3	1		1	

# 上海海洋大学

Shanghai Ocean University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	No. 999, Huchenghuan Rd, Nanhui New City, Shanghai, P.R. China				
設置形態	上海市立				
ホームページ	<a href="http://www.shfu.edu.cn/">http://www.shfu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2010年3月11日				
協定更新年月日	2015年3月10日				
有効期限	2020年3月9日				
覚書締結年月日	2010年3月11日				
覚書更新年月日	2015年3月10日				
有効期限	2020年3月9日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	連合農学研究科				
窓口教員	農学部・教授・會見忠則				
締結経緯	1998年11月に新潟大学で開催された日中国際きのこ会議で、当時の上海食用菌研究所所長潘迎捷（Pan Ying-jie）（現上海海洋大学学長・食品科学院教授）ときのこの遺伝学について交流する。その後2000年11月に上海食用菌研究所主催で行われた、極東アジア食用きのこ会議にて、当時の上海食用菌研究所所長潘迎捷（Pan Ying-jie）（現上海海洋大学学長・食品科学院教授）とさらに交流を深める。2006年11月には上海食用菌研究所主催で上海・南京で行われた東アジア国際きのこ会議において、上海海洋大学の研究者らと交流する。2008年11月には會見教授が、上海市農業科学院食用菌研究所を訪問し、研究所に所属する上海海洋大学学生と交流を深める。これらの交流を経て、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	5	1		
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					



# 上海市農業科学院食用菌研究所

Institute of Edible fungi, Shanghai Academy of Agricultural Sciences

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	No. 35, Nanhua road, Shanghai, 201106, China				
設置形態	上海市立				
ホームページ	<a href="http://www.sh-mushroom.com/website/asp/home/index.asp">http://www.sh-mushroom.com/website/asp/home/index.asp</a>				
協定締結年月日	2010年3月11日				
協定更新年月日	2015年3月10日				
有効期限	2020年3月9日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	連合農学研究科				
窓口教員	農学部・教授・會見忠則				
締結経緯	2000年4月に上海市農業科学院食用菌研究所の修了生、曹暉(Cao Hui)氏が、本学連合農学研究科の博士課程を修了し学位を取得する。その後2003年9月に上海市農業科学院食用菌研究所の修了生、鮑大鵬(Bao Dapeng)氏が、本学連合農学研究科の博士課程を修了し学位を取得する。2003年10月～2005年9月には鮑大鵬(Bao Dapeng)氏が、学術振興会外国人特別研究員に採用され、鳥取大学(農学部・會見研究室)においてマツタケの育種に関する共同研究を行う。2007年10月に、上海市農業科学院食用菌研究所の修了生、蟻端榮(Yi Ruirong)が、連合農学研究科博士課程に進学した(在籍中)。2008年11月には農学部・會見教授が上海市農業科学院食用菌研究所を訪問し、研究所でセミナーを行い、交流を深める。2009年8月に農学部・會見教授が、北京農業科学院を訪問した際、上海市農業科学院食用菌研究所研究員・陳明杰(Chen Ming jie)と協定書に関して打ち合わせを行い、今回の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	4	1		
	2011年度			1	
	2012年度			1	
	2013年度	1			
	2014年度				
2015年度	2				

# 中国農業科学院農業資源及び農業区画研究所

Institute of Agricultural Resources and Regional Planning,  
Chinese Academy of Agricultural Sciences

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	Institute of Agricultural Resources and Regional Planning, Chinese Academy of Agricultural Sciences Zhongguancun South Street, Haidian District, Beijing 100081, China				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.iarrp.cn/">http://www.iarrp.cn/</a>				
協定締結年月日	2010年3月12日				
協定更新年月日	2015年3月10日				
有効期限	2020年3月9日				
覚書締結年月日	2010年3月12日				
覚書更新年月日	2015年3月10日				
有効期限	2020年3月9日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	連合農学研究科				
窓口教員	農学部・教授・會見忠則				
締結経緯	2008年10月に本件のカウンターパートである Jinxia Zhang 博士が鳥取大学(農学部・會見研究室)を訪問し、学生交流および研究交流に関する打ち合わせを行い、農学部・霜村准教授とショウロの採集を行った。また、農学部・山口教授の指導により、液肥の製造、紙マルチングに関する技術について学んだ。その後2009年8月に農学部・會見教授、山口教授、霜村典宏准教授が、中国農業科学院農業資源及び農業区画研究所を訪問し、セミナーを開催した。2009年10月には中国農業科学院農業資源及び農業区画研究所で修士課程を修了した李燕が鳥取大学大学院連合農学研究科に入学した。これらの交流を経て、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	3	1	1	
	2011年度				
	2012年度			1	
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					

# 中国林業科学研究院

Chinese Academy of Forestry

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	北京市海淀区万寿山				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.caf.ac.cn/index.html">http://www.caf.ac.cn/index.html</a>				
協定締結年月日	2010年7月14日				
協定更新年月日	2015年7月13日				
有効期限	2015年7月13日				
覚書締結年月日	2010年7月14日				
覚書更新年月日	2015年7月13日				
有効期限	2015年7月13日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・山中典和				
締結経緯	2010年1月に中国林業科学研究院砂漠化研究所所長の卢 琦 (Li Qi) 教授と王冬芳研究員が乾燥地研究センターを訪問し、東アジアの砂漠化問題、乾燥地研究の現状について意見交換を行った。特に東アジアでの砂漠化問題の解決において、中国林業科学研究院砂漠化研究所と鳥取大学乾燥地研究センターの果たすべき役割が重要であることを確認し、同時に両機関の緊密な交流が必要であるとの認識で一致し、学术交流協定締結に向けて、今後双方で協議を進めることを確認した。2010年3月には乾燥地研究センターの山中教授と大学院生1名が北京の中国林業科学研究院と砂漠化問題研究所を訪問し、林業科学研究院では儲富祥 (CHU Fuxiang) 副院長らと、中国林業科学研究院と鳥取大学の学术交流についての意見交換を行い、鳥取大学出身の学生がすでに4名、研究員として林業科学研究院で働いている実績があること、砂漠化研究所と乾燥地研究センターの一層の研究交流を進めてゆく必要があることなどを確認し、学术交流協定を締結して砂漠化問題や森林・林業一般について今後幅広く交流を行っていくことで合意した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	1	1	2	
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度	1			
2014年度					
2015年度					

# 遼寧大学

Liaoning University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	遼寧省沈陽市皇姑区崇山中路66号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.lnu.edu.cn/">http://www.lnu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2010年9月27日				
協定更新年月日	2015年9月27日				
有効期限	2020年9月26日				
覚書締結年月日	2010年9月27日				
覚書更新年月日	2015年9月27日				
有効期限	2020年9月26日				
交換学生数	毎年2名以内				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・菅原一孔				
締結経緯	2008年11月から翌2009年1月までの3ヶ月間、遼寧大学情報科学技術学院の薛 建生教授が工学部知能情報工学科の客員教授として滞在した。その間、同学科計算機工学講座において研究に関する意見交換や学术交流協定を締結するための準備を重ねた。それを受けて、2010年4月に同講座の菅原教授と国際交流センター長の若教授が遼寧大学を訪問し、遼寧大学の副校長（副学長に相当）郭 永新教授、同学国際交流所 李 彦学副所長、同学情報科学技術学院牛 斌 院長、薛 建生副院長ならびに相手側実務の代表者と会談し、両大学間で学生および研究者の交流を活発に行いたいとの点で大筋に合意した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	3		1	
	2011年度	4			
	2012年度				
	2013年度				
2014年度					
2015年度					



# 吉林大学

Jilin University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	長春市前進大街2699				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.jlu.edu.cn/newilu/">http://www.jlu.edu.cn/newilu/</a>				
協定締結年月日	2011年11月7日				
協定更新年月日	2016年11月6日 ※更新予定				
有効期限	2016年11月6日				
覚書締結年月日	2011年11月7日				
覚書更新年月日	2016年11月6日				
有効期限	2016年11月6日				
交換学生数	毎年2名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・教授・藤田安一				
締結経緯	<p>吉林大学の王副学長がかつて鳥取大学工学部に籍を置いていたこと、また東北アジア研究院の沈海涛副所長がとっとり政策総合研究センターに在籍した経験があることから、鳥取大学との間に親交があり、2004年7月に鳥取大学で開催された北東アジア地域学国際会議にも沈海涛教授が参加するなど、盛んな学術交流を行っている。また、地域学部は国際地域としては北東アジアを重視するという基本的な政策を持っており、吉林大学東北アジア研究院を望ましい交流相手と考え、2006年7月、部局間の学術交流協定を締結した。その後、吉林大学と鳥取大学が北東アジア地域学教授協議会の有力なメンバーとして北東アジアにおける総合的な地域学の創造をめざし交流を強化しようとする観点から、吉林大学東北アジア研究院と鳥取大学地域学部と協定から、吉林大学と鳥取大学との大学間協定に発展させようとする意向したものである。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	22		17	
	2011年度	3			
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					

# 蘭州大学

Lanzhou University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	甘肅省蘭州市天水南路222号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.lzu.edu.cn/">http://www.lzu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2014年6月11日				
協定更新年月日	2019年6月10日				
有効期限	2019年6月10日				
覚書締結年月日	2014年6月11日				
覚書更新年月日	2019年6月10日				
有効期限	2019年6月10日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	<p>乾燥地研究センターの元プロジェクト研究員（平成22年4月1日～平成24年12月14日）程云湘氏が、平成24年12月に蘭州大学草地農業科学技術学院准教授に着任したことをきっかけに、乾燥地研究センターと蘭州大学の研究交流が開始した。平成25年12月10日～13日には蘭州において、蘭州大学草地農業科学技術学院、中国科学院寒区旱区環境工学研究所、及び鳥取大学乾燥地研究センターが合同ワークショップを開催し、互いの研究内容等について情報交換を行うと共に、今後の研究・教育に係る相互協力の可能性等について議論を行った。また、12月10日に乾燥地研究センター恒川教授と国際交流センター安藤教授が蘭州大学国際交流センターを訪問し、今後の研究者・学生の派遣及び受入れ等について意見交換を行った。この際、蘭州大学側から学術交流協定及び学生交流に関する覚書の締結について打診があり、両機関の学術交流協定により今後一層の教育・研究面での国際的発展が期待されることから、協定締結に向けて両機関で引き続き協議することを確認した。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2014年度	5		11	9
	2015年度	6			4

# 銘伝大学

Ming Chuan University

国名・地域名	台湾				
住所	台北キャンパス：111台北市中山北路5段250號 Taipei: 250 Zhong Shan N. Rd., Sec. 5, Taipei 111, Taiwan 桃園キャンパス：333桃園縣龜山鄉德明路5號 Taoyuan: 5 De Ming Rd., Gui Shan District, Taoyuan County 333, Taiwan 基河キャンパス：111台北市士林區基河路130號3F-8F Jihe: 3F-8F, No.130, Jihe Rd., Shihlin District, Taipei City 111, Taiwan				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www1.mcu.edu.tw/">http://www1.mcu.edu.tw/</a>				
協定締結年月日	2011年4月1日				
協定更新年月日	2016年4月1日				
有効期限	2021年3月31日				
覚書締結年月日	2011年4月1日				
覚書更新年月日	2016年4月1日				
有効期限	2021年3月31日				
交換学生数	毎年7名以内				
中心部局	国際交流センター				
窓口教員	国際交流センター・講師・御館久里恵				
締結経緯	<p>本学と台湾銘伝大学との交流は、本学国際交流センター主催の「夏期日本語・日本文化研修プログラム」に銘伝大学の学生を受け入れたことから始まった。その実績は、2007年4人、2008年16人、2010年13人である（2009年は新型インフルエンザのため中止）。2008年からは本学国際交流センターの御館久里恵講師と銘伝大学応用日本語学科羅曉勤助教授の共同研究を開始し、研究交流も行っている。</p> <p>2010年12月に、銘伝大学の招聘により若副学長・国際交流センター長が銘伝大学を訪問し、今後の交流について銘伝大学関係者と意見交換を行った。その席で、学生交流の一層の充実と共同研究の活性化を図るため、学術交流協定を締結したい旨の提案が銘伝大学よりなされた。これを受け、国際交流センター会議及び国際交流センター運営委員会で検討した結果、両大学の国際交流活動の活性化に寄与するものとして学術交流協定を締結することとした。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	1		1	33
	2011年度				14
	2012年度	25	21		23
	2013年度	9	23		29
	2014年度	13	31		17
2015年度	10	32		23	

# 東海大学

TungHai University

国名・地域名	台湾				
住所	40704 台湾 台中市西屯區台中港路三段181號				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www.thu.edu.tw/">http://www.thu.edu.tw/</a>				
協定締結年月日	2012年7月31日				
協定更新年月日					
有効期限	2017年7月30日				
覚書締結年月日	2014年6月18日				
覚書更新年月日					
有効期限	2017年7月30日				
交換学生数	2名以内				
中心部局	国際交流センター				
窓口教員	国際交流センター・准教授・崎原麗霞				
締結経緯	<p>本学と東海大学との交流は、2001年に鳥取大学から依頼を受け、本学から国際親善学生として1年間、当時の教育地域科学部生を東海大学に派遣したことから始まった。その後、2004年と2006年に若国際交流センター長が東海大学王国際交流センター長を表敬訪問し、国際親善奨励学生としての本学学生の受入に対する感謝の意を伝えるとともに、本学が実施している「夏季短期日本語・日本文化研修プログラム」についての情報交換を行った。これを受け、翌2007年より東海大学から毎年4名～5名の研修生が本プログラムに参加している。</p> <p>鳥取県は2002年より、東海大学のある台湾、台中県と農業、観光、東海大学学生による鳥取県内でのインターンシップ事業などを推進しており、2012年1月の鳥取県代表団の台中訪問に際して、平井知事より東海大学と鳥取大学との交流も推進して頂きたいとの要請が台中市長になされた。このような経緯を踏まえ、両大学の国際交流センター間で包括的な交流協定の締結について継続的に協議を行ってきた。</p> <p>東海大学としては、日本の国立大学は魅力的であり、アジア重視の観点から鳥取大学との関係強化は重要であるとの学長の判断もあり、一方、鳥取大学としては、学生交流の充実のみならず、優秀な留学生確保や農学や工学分野での国際共同研究の推進の観点から、東海大学との交流協定の締結は本学の国際化、グローバル化の推進にとっても意義あるものとの認識から交流協定の締結に至った。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2012年度	2			
	2013年度	6			15
	2014年度				5
	2015年度	2			7



# モンゴル国立農業大学

Mongolian State University of Agriculture

国名・地域名	モンゴル国				
住所	Zaisan, Ulaanbaatar 210153, Mongolia				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.msua.edu.mn/">http://www.msua.edu.mn/</a>				
協定締結年月日	2003年4月10日				
協定更新年月日	2013年4月8日				
有効期限	2018年4月7日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・准教授・西原英治				
締結経緯	農学部の実方剛助教授が2001年7月にモンゴル国立農業大学付属獣医学研究所及び免疫センターにおいて講義等を行った際、Norovyn ALTANSUKH総長を訪問し、学術交流協定について意見交換を行った。その後学術交流を重ね、同大学より本学農学部へ協定締結の希望があり、締結に至った。 また、モンゴル国立農業大学Byambaa総長が鳥取大学長を訪問し、学術交流協定の更新を要請し、学長と総長の間で2008年の更新時には大学間交流とすることが了解された。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	38	3	5	1
	2011年度	8	2	1	
	2012年度	10	3	1	
	2013年度	4		1	
	2014年度	10		1	
2015年度	5		1		

# モンゴル科学アカデミー生物学研究所

Institute of Biology, Mongolian Academy of Sciences

国名・地域名	モンゴル国				
住所	Institute of Biology, Ulaanbaatar-51, Jukov avenue, Mongolia				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.mas.ac.mn/en/">http://www.mas.ac.mn/en/</a>				
協定締結年月日	2007年6月29日				
協定更新年月日	2013年12月27日				
有効期限	2016年12月26日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	2002年より、恒川乾燥地研究センター長とLkhagvasuren博士（現、生物学研究所哺乳類生態学研究室長）が4年間の共同研究を行った。また、2006年よりアジアノロバ等を研究対象とした新たな共同研究を開始し、動植物種の標本の交換や捕獲用麻酔薬等のモンゴルへの持ち込み等の許可申請の円滑化、及び今後の日本-モンゴル間の研究・協力を進める上で協定締結が有効であると判断し、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	7			
	2011年度	2			
	2012年度	1			
	2013年度	1			
	2014年度	2			
2015年度	3				

# モンゴル気象水文環境研究所

Institute of Meteorology, Hydrology and Environment of Mongolia

国名・地域名	モンゴル国				
住所	Khudaldaaany gudamj-5, Ulaanbaatar-46				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.env.pmis.gov.mn/Meteoins/">http://www.env.pmis.gov.mn/Meteoins/</a>				
協定締結年月日	2008年1月10日				
協定更新年月日	2012年12月12日				
有効期限	2017年12月11日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・黒崎泰典				
締結経緯	2003年8月に篠田教授がモンゴル気象水文研究所と「気象変動と災害」に関する共同研究を開始し、2004～2006年には科研費基盤研究(B)(海外学術)「干ばつに対するモンゴル草原生態系の自己修復機能の実験的解明」(代表者:篠田雅人)の共同研究を実施した。2005～2008年に国際協力機構(JICA)の技術協力プロジェクト「モンゴル国気象予測及びデータ解析のための人材育成プロジェクト」において、篠田教授は干ばつ/ゾド早期警戒システムの構築に取り組んだ。2007年8月、篠田教授はモンゴル気象水文研究所と、協定文書の検討を行い、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	15	14	2	
	2011年度	15	3		
	2012年度	12	5		
	2013年度	7		1	
	2014年度	5		1	
2015年度	5		2		

# モンゴル国立大学 (前 モンゴル商業大学)

National University of Mongolia

国名・地域名	モンゴル国				
住所	Sukhbaatar district, 8th micro district Enkhtaivan Avenue14/3, Ulaanbaatar 210648, Monglia				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.num.edu.mn/">http://www.num.edu.mn/</a>				
協定締結年月日	2010年3月9日				
協定更新年月日					
有効期限	2015年3月8日 ※現在手続き中				
覚書締結年月日	2010年3月9日				
覚書更新年月日					
有効期限	2015年3月8日				
交換学生数	毎年2名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・教授・永山正男				
締結経緯	(1) 北東アジア教授協議会(NAPA)の設立準備において、モンゴル側の幹事大学を決める事が出来なかったため、鳥取県に依頼した。モンゴル中央県が検討した結果、モンゴル商業貿易大学を紹介された。教授協議会が進める北東アジア地域学に適合する大学という理由である。2010年、モンゴル商業貿易大学は、モンゴル国立大学に統合されたため、ここに協定を結びなおす必要が生じた。 (2) 2012年4月に、NAPA第6回会議が鳥取で開催され、モンゴル国立大学学長も、その学長会議に参加し、交流協定を締結したい旨申し出があった。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	2			
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度	1		1	
2015年度					

# モンゴル国立医科大学

Mongolian National University of Medical Sciences

国名・地域名	モンゴル国				
住所	S. Zorig Street-3, Ulaanbaatar 210648, Mongolia				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://mnums.edu.mn/">http://mnums.edu.mn/</a>				
協定締結年月日	2015年10月26日				
協定更新年月日					
有効期限	2020年10月25日				
覚書締結年月日	2015年10月26日				
覚書更新年月日					
有効期限	2010年10月25日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学部・准教授・大谷眞二				
締結経緯	鳥取大学医学部・大西 一成助教とモンゴル医科大学・Purevdorj Baljinnyam Olkhanud教授（ブルドルジ・バジヤム・オルクハウンド）（以下、ブルドルジ教授）の間では、2013年から黄砂の共同研究を行っている。 2013年1月よりモンゴル医科大学のブルドルジ教授と研究打ち合わせを行い、2014年6月にはブルドルジ教授を本学医学部へ招待して講演を行った。また、同時に大学院生のMuhtuul Odzren氏（ムンフトール・オズレン）が来訪し、黄砂の採取方法と研究方法等に関する教育を行った。 今後も共同研究のため交流を継続し、学生交流を含め連携を更に深めることについて双方の同意が得られたため、今回の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2015年度	2			

# 森林生産物開発研究所

Forest Products Research and Development Institute

国名・地域名	フィリピン共和国				
住所	College, Laguna 4031				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.uplb.edu.ph/fprdi/">http://www.uplb.edu.ph/fprdi/</a>				
協定締結年月日	1993年11月1日				
協定更新年月日					
有効期限	なし				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・准教授・藤本高明				
締結経緯	1982年に佐野教授がJICAによる短期専門家として森林生産物開発研究所を訪問、その時指導した研究員が留学生として来学し、交流が始まった1990年に佐野教授、山本教授が同研究所を訪問した際、研究所長から学術交流協定を結びたいとの意向の打診があり、その後両機関で調整を図り、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
				8	
		～2010年度			
		2011年度			
		2012年度			
		2013年度			
2014年度					
2015年度					



# ベンゲット州立大学

Benguet State University

国名・地域名	フィリピン共和国				
住所	Benguet State University, La Trinidad, 2601 Benguet, Republic of the Philippines				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.bsu.edu.ph/">http://www.bsu.edu.ph/</a>				
協定締結年月日	2015年7月24日				
協定更新年月日					
有効期限	2020年7月23日				
覚書締結年月日	2015年7月24日				
覚書更新年月日					
有効期限	2020年7月23日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部 教授 安延 久美				
締結経緯	<p>平成26年7月：かねてより親交のあったDr. Cheryl Launio(農業経済学博士)から安延教授(農学部)に対して、施設園芸経営に関する日本とフィリピンの比較研究の共同研究の申し入れがあった。競争的資金へ応募するために研究プロポーザルの検討をはじめ。</p> <p>平成27年3月：共同研究や学生交流を実施するため、安延教授が研究室の学生4名を帯同して現地を訪問する。学長および農学部長、農業経済学科長に表敬訪問するとともに、現地の有機野菜生産農家や有機野菜出荷組合の視察と調査を実施する。</p> <p>平成27年7月(予定)：ベンゲット州立大学農学部長が、鳥取大学農学部を訪問。田村農学部長に表敬訪問するとともに、今後の学生交流や共同研究の可能性について検討。</p> <p>平成27年9月(予定)：安延教授が農学部学生数名とともに、有機野菜生産と農家経済調査のため同大学を訪問。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2015年度	2	3		

# シンガポール国立化学工学研究所

Institute of Chemical and Engineering of Sciences(ICES)

国名・地域名	シンガポール共和国					
住所	1 Pesek Road, Jurong Island, Singapore 627833					
設置形態	国立					
ホームページ	<a href="http://www.ices.a-star.edu.sg/ices/home.do">http://www.ices.a-star.edu.sg/ices/home.do</a>					
協定締結年月日	2009年10月16日					
協定更新年月日	2015年6月8日					
有効期限	2018年6月7日					
覚書締結年月日						
覚書更新年月日	なし					
有効期限						
交換学生数						
中心部局	工学部					
窓口教員	工学研究科・教授・伊藤敏幸					
締結経緯	<p>2006年2月にICESで開催された“Biocatalysis Workshop2006 in ICES”において、工学研究科教授 伊藤敏幸教授が講師として招聘され、これを契機にICESの研究者との交流が始まった。2007年10月には伊藤教授がICES上級研究員のWu Jinchuan博士を本学に招聘し講演会を実施している(物質工学科3年生ならびに物質工学専攻所属学生も聴講)。</p> <p>本学では、昨年度に工学研究科化学・生物応用工学専攻が中心となり、学長裁量経費で「持続性社会へのグリーン・サステナブル・ケミストリー研究拠点形成」に係わる研究を開始し、この成果を基盤とする平成21年度GCOE拠点形成プログラム「持続性社会へのグリーンケミストリー拠点形成」を申請した。採決には至らなかったが、次年度も申請予定である。このプログラムでは、大学院生博士課程所属の学生に海外連携機構での研究体験の義務つけており、次年度の採決実現のためにも、活動実績を積む必要がある。ICESは環境に優しい科学技術開発を目的に、科学技術立国シンガポールの期待を担い設置された研究所であり、シンガポールの国情を反映して非常に国際色豊かであり、「持続性社会へのグリーンケミストリー拠点形成」拠点形成プロジェクトに係わる海外連携機関として相応しい研究機関である。そこで、本年度から実際に学生をICESに派遣するため、正式に学術交流協定を締結することになった。</p>					
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数		
		教職員	学生	教職員	学生	
		～2010年度	1	1		
		2011年度				
		2012年度				
		2013年度		1		
		2014年度		1		
2015年度						

# セベラス・マレット大学

Sebelas Maret University

国名・地域名	インドネシア共和国				
住所	Jalan. Ir. Sutami 36A Kentingan, Surakarta 57126				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.unss.ac.id/index.php">http://www.unss.ac.id/index.php</a>				
協定締結年月日	1996年10月8日				
協定更新年月日	2016年9月14日				
有効期限	2021年9月13日				
覚書締結年月日	1998年12月15日				
覚書更新年月日	2016年9月14日				
有効期限	2021年9月13日				
交換学生数	毎年3名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学部・教授・景山誠二				
締結経緯	1988年に日本児童問題調査会が開始した研修協力事業「インドネシアの発達障害児に対するリハビリテーション」の協力要請に始まり、毎年3～4名の研修生をセベラス・マレット大学から受け入れてきた。この研修生の一員であった同大学医学部附属病院の医師が、1996年4月に同大学医学部長に就任し、本学との協定締結を打診してきた。本学医学部も同大学との学術交流の必要性を考えていたため、協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	5	3	10	18
	2011年度			1	
	2012年度				
	2013年度				
2014年度			1		
2015年度					

# ディポネゴロ大学

Diponegoro University

国名・地域名	インドネシア共和国				
住所	JI. Prof. Soedarto, SH Tembalang Semarang 50275 Indonesia				
設置形態	州立				
ホームページ	<a href="http://www.undip.ac.id/">http://www.undip.ac.id/</a>				
協定締結年月日	2009年6月22日				
協定更新年月日	2014年6月21日				
有効期限	2019年6月20日				
覚書締結年月日	2009年6月22日				
覚書更新年月日	2014年6月21日				
有効期限	2019年6月20日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学系研究科・教授・久留一郎				
締結経緯	2004年4月、武田財団奨学金によりディポネゴロ大学医学部からUdin Bahrudinさんを生命機能研究支援センター遺伝子探索分野に研究生として受け入れた。その後、Udin Bahrudinさんは鳥取大学大学院に入学し、2005年10月より機能再生医科学専攻遺伝子再生医療学講座再生医療学部門久留教授の指導のもと研究を行っている。Udin Bahrudinさんは極めて優秀でこれまでに優れた研究結果を多く出している。 2007年9月、鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野難波教授と鳥取大学大学院機能再生医科学専攻遺伝子再生医療学講座再生医療学部門久留教授がディポネゴロ大学医学部主催のシンポジウムに招かれ、それぞれ招待講演、基調講演を行い学術交流が始まった。 その後、2007年12月よりディポネゴロ大学から鳥取大学へ研究生の受け入れおよび、本学との協定締結について強い要望があり、2008年7月にはSoejotoディポネゴロ大学医学部長、Sultanaディポネゴロ大学医学部教授、他3名が能勢鳥取大学学長を表敬訪問し、今回の締結に至っている。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	2		3	4
	2011年度			1	
	2012年度			2	
	2013年度				2
2014年度			6	2	
2015年度					



# スラバヤ工科大学

Institute of Technology Sepuluh Nopember (ITS)

国名・地域名	インドネシア共和国				
住所	INDONESIA Sukolilo, Surabaya 60111				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.its.ac.id/en/">http://www.its.ac.id/en/</a>				
協定締結年月日	2012年5月21日				
協定更新年月日					
有効期限	2017年5月20日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・岸田悟				
締結経緯	<p>インドネシア政府は、ITSスタッフとしてImam Robandi教授を1998年から2002年まで博士学位プログラムの勉強を行うために鳥取大学へ派遣した。彼は2002年3月24日に修了した。</p> <p>2008年10月から3ヶ月間、ITSはImam Robandi教授を鳥取大学電気電子工学科に派遣した。この間、Imam Robandi教授、若教授(国際交流センター長)、岸田教授(工学部教授)の間で鳥取大学とITSの共同プログラムに関する準備を行った。</p> <p>2010年12月にITSは鳥取大学・岸田教授をITSのAPTECS国際セミナーにおける基調講演者として招待した。この機会にPriyo Suprobo教授 (Rector of ITS)、Imam Robandi教授と岸田教授は鳥取大学とITSの交流プログラムについて議論した。</p> <p>2011年9月にITSは、Imam Robandi教授を鳥取大学工学部電気電子工学科の西守教授の研究室に学術的充電事業として3ヶ月間、派遣した。この間、両校の学術交流協定に関する打ち合わせを若教授、Imam Robandi教授と岸田教授によって行ってきた。共同研究のスコープは工学、科学及び技術の分野にフォーカスされた。故に、両大学の能力開発の架け橋となるために鳥取大学とITSの共同研究を実現させる意義がある。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度				
2015年度		1			

# ムハマディヤ・ハムカ大学

University of Muhammadiyah Prof. DR. HAMKA

国名・地域名	インドネシア共和国				
住所	Jl, Limau II Kebayoran Baru, Jakarta Selatan, Indonesia				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www.uhamka.ac.id/index.php">http://www.uhamka.ac.id/index.php</a>				
協定締結年月日	2013年10月7日				
協定更新年月日					
有効期限	2018年10月6日				
覚書締結年月日	2013年10月7日				
覚書更新年月日					
有効期限	2018年10月6日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・准教授・仲野誠				
締結経緯	<p>平成24年4月にジャカルタのムハマディヤ・ハムカ大学により地域学部・仲野誠准教授が招聘され、同大学主催の国際セミナーとムハマディヤ教育システム下の学校でレクチャーを行った。このとき、ムハマディヤ・ハムカ大学学長から鳥取大学との学術協定締結の申し入れがあり、地域学部で検討した結果、交流実績は無いが、東南アジアは鳥取大学の国際交流プログラム実施のうえで重要な地域であり、またムハマディヤ・ハムカ大学との交流は本学の学生及び教員にとって学ぶ意義が大きいと判断され、まずは、海外フィールド演習のパイロットプログラムを24年度内に実施する運びとなった。平成24年12月にハムカ大学と協働で実施される鳥取大学地域学部「海外フィールド演習インドネシアプログラム(パイロットプログラム)」の打ち合わせのために、仲野誠准教授が同大学を訪問し、平成25年3月20日～26日の日程で、地域学部のパイロットプログラムとして同プログラムを実施した。ムハマディヤ・ハムカ大学との交流は「海外フィールド演習」の科目の単位化が決定したことや、教員同士の共同研究の案も具体的に進行し始める等、今後継続した交流が期待されることから、平成25年10月ムハマディヤ・ハムカ大学の学長ら5名が本学を訪れ、協定を締結した。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2012年度				
	2013年度	4	7	5	
	2014年度	3	8	3	2
	2015年度	6	7	4	6

# ボゴール農科大学

Bogor Agricultural University

国名・地域名	インドネシア共和国				
住所	Darmaga, Baranang Siang, Gunung Gede, Taman Kencana				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://ipb.ac.id/">http://ipb.ac.id/</a>				
協定締結年月日	2012年4月5日				
協定更新年月日	2016年7月8日				
有効期限	2021年7月7日				
覚書締結年月日	2016年7月8日				
覚書更新年月日	2021年7月7日				
有効期限	2021年7月7日				
交換学生数	毎年10名以内				
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・准教授・明石 欣也				
締結経緯	ボゴール農科大学と為取大学とは、農学部 長俣長太教授を窓口として、学部間学術交流協定が種福（為取大学農学部、ボゴール農科大学農学部およびResearch and Community Services Instituteの3者間協定／2012年4月5日締結）されており、この協定に基づき両機関間でこれまで幾多の交流がなされ、多くの成果が得られてきたが、その協定はリモートセンシング分野に特化・限定したものであった。ボゴール農科大学との学術交流においては、研究成果の創出のみならず、学生交流および人材育成の実績を着実に積み重ねてきた。また、リモートセンシング、バイオ燃料、キノコ研究など、研究分野も多岐にわたり、両大学において複数の学部および研究センターが多角的に参画する状況が生じてきている。今後、更なる成果を創出するには、多彩な学術分野における交流を促進するためのあらたな学術交流協定と、学生交流に関する協定を締結し、交流への機運と土台を作ることが重要であり、農学部においても、このたびの協定締結の暁には学生の海外研修プログラムの派遣先としてボゴール農科大学を候補地とすべく、調整を行っているところである。				
交流状況		派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	1	6		
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度	1			
	2014年度	2			
2015年度	2				

# カセサート大学

Kasetsart University

国名・地域名	タイ王国				
住所	Department of Microbiology, Faculty of Science, Kasetsart University, Jatujak, Bangkok 10900, Thailand				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.ku.ac.th/english/">http://www.ku.ac.th/english/</a>				
協定締結年月日	2009年8月19日				
協定更新年月日	2014年8月12日				
有効期限	2019年8月11日				
覚書締結年月日	2009年8月19日				
覚書更新年月日	2014年8月12日				
有効期限	2019年8月11日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	連合農学研究科				
窓口教員	農学部・教授・會見忠則				
締結経緯	2004年に、カウンターパートであるソーホーンブーンルー准教授が會見教授に師事し、学位取得した。帰国後、コンケン大学に會見教授と広島県立大学の森永教授が訪問し、セミナー講師を務めるとともに、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	11	23	3	
	2011年度	5	3	1	
	2012年度	10	2	2	
	2013年度	4			
	2014年度	4			
2015年度	4				



# コンケン大学

Khon Kaen University

国名・地域名	タイ王国				
住所	Khon Kaen University, Khon Kaen 40002, Thailand				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.kku.ac.th/">http://www.kku.ac.th/</a>				
協定締結年月日	2009年8月20日				
協定更新年月日	2014年8月12日				
有効期限	2019年8月11日				
覚書締結年月日	2009年8月20日				
覚書更新年月日	2014年8月12日				
有効期限	2019年8月11日				
交換学生数	毎年30名以内				
中心部局	連合農学研究科				
窓口教員	農学部・教授・會見忠則				
締結経緯	2004年に、カウンターパートであるソーホンブーンルー准教授が會見教授に師事し、学位取得した。帰国後、コンケン大学に會見教授と広島県立大学の森永教授が訪問し、セミナー講師を務めるとともに、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	11	23	3	
	2011年度	5	22	1	13
	2012年度	5	40	3	16
	2013年度	4	21	2	5
	2014年度	8	35		7
2015年度	14	30	2	5	

# フエ大学

Hue University

国名・地域名	ベトナム社会主義共和国				
住所	03, Le Loi St., Hue City, Thua Thien - Hue Province, Vietnam				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.hueuni.edu.vn/">http://www.hueuni.edu.vn/</a>				
協定締結年月日	2011年3月24日				
協定更新年月日	2016年3月23日				
有効期限	2021年3月22日				
覚書締結年月日	2011年11月1日				
覚書更新年月日	国立				
有効期限	2021年3月22日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・准教授・筒井一伸				
締結経緯	2006年11月、地域学部筒井一伸講師のフエ科学カレッジ地理-地質学部のグエン クアン トゥアン講師への研究協力の依頼を機に学术交流が始まり、2009年3月にフエ大学フエ科学カレッジと地域学部間で部局間学术交流協定を締結した。その後、地域学部の教員数名と他のカレッジや大学直轄学部との交流が広がり、フエ科学カレッジのみとの学术交流協定では不十分となってきた。また、現在の協定では教育交流の項目が入っておらず、地域学部で創設を検討している専門科目「海外フィールド演習」の実施に向けては交流内容の更新が必要であったため、検討を重ねた結果、大学間での学术交流協定締結の合意に達した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	17		4	
	2011年度	9	6	2	
	2012年度	9	14	1	
	2013年度	11	8		
	2014年度	7	4	4	1
2015年度	5	8	2	1	

# パテイン大学

Pathein University

国名・地域名	ミャンマー連邦共和国				
住所	Pathein university, Pathein, Ayeyarwady Region, Republic of the Union of Myanmar				
設置形態	国立				
ホームページ					
協定締結年月日	2015年2月19日				
協定更新年月日					
有効期限	2020年2月18日				
覚書締結年月日	2015年2月19日				
覚書更新年月日					
有効期限	2020年2月18日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・准教授・松村一善				
締結経緯	<p>平成9年12月： 科研費（国際学術研究）伊東正一代表「世界のジャポニカ米ーその現状と潜在的生産能力ー」ミャンマー調査の際、Nyunt Phay氏（パテイン大学現学長。当時、北海道大学大学院農学研究科博士後期課程に在籍中）の協力を得る。</p> <p>平成24年5月： Nyunt Phayパテイン大学学長より、鳥取大学農学部松村准教授に鳥取大学と相互交流、共同研究、学術交流協定締結等を行いたいとの申し入れがあった。</p> <p>平成26年6月： Nyunt Phay学長が鳥取大学農学部を訪問。田村学部長にMOUの検討を依頼。</p> <p>平成26年11～12月：パテイン大学の招聘を受け、會見教授、霜村教授、安延教授、松村准教授がパテイン大学で開催された第1回Myanmar-Japan Symposiumに出席。霜村教授が発表を行った。その後、Nyunt Phay学長、Than Soe副学長とMOUの締結に関する打ち合わせを行った。また、教育省大臣（Dr. Daw Khin San Yi）、パテイン州知事（Mr. U Thein Aung）からパテイン大学と鳥取大学の交流促進、パテイン州農業振興への協力要請を受ける。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2014年度	7		1	
2015年度	4				

# ネバダ大学リノ校

University of Nevada, Reno

国名・地域名	アメリカ合衆国				
住所	1664 North Virginia Street, Reno, Nevada 89557, U.S.A				
設置形態	州立				
ホームページ	<a href="http://www.unr.edu/">http://www.unr.edu/</a>				
協定締結年月日	1985年7月22日				
協定更新年月日					
有効期限	なし				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局					
窓口教員					
締結経緯	1973年に、ネバダ大学が行っているサマースクールへの参加について、当時鳥取大学に任用していた外国人教師を介して勧誘があり、鳥取大学アメリカ夏期研修を開催したことがきっかけとなり、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	10	92		
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
2014年度					
2015年度					

# カリフォルニア大学デービス校

University of California, Davis

国名・地域名	アメリカ合衆国				
住所	Davis, California 95616-5294, U.S.A				
設置形態	州立				
ホームページ	<a href="http://www.ucdavis.edu/">http://www.ucdavis.edu/</a>				
協定締結年月日	1996年5月1日				
協定更新年月日	2015年8月7日				
有効期限	2019年8月6日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・山本定博				
締結経緯	農学部の前田運助手が1988年以来デービス校の教員をしており、1991年には農学部大学院生が同教員の研究室に留学、また、1995年には農学部及び乾燥地研究センター教員各1名が在外研究員としてデービス校で研究するなど、これまで多くの研究者が交流を行ってきた。また、デービス校からは、果樹学の名誉教授をはじめ多くの研究者が来学するなど、相互の活発な交流が行われてきた。1996年に岩崎教授がデービス校を訪問した際に農学部長、大学院連合農学研究科長の意向をふまえて協定締結を打診し、相互の調整の後、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	17	16	8	
	2011年度	5	18	2	
	2012年度	11	21		2
	2013年度	3	20		
2014年度	4	13			
2015年度	5	16			

# カリフォルニア大学バークレー校

University of California, Berkeley

国名・地域名	アメリカ合衆国				
住所	Berkeley, California 94720-1500, U.S.A.				
設置形態	州立				
ホームページ	<a href="http://www.berkeley.edu/">http://www.berkeley.edu/</a>				
協定締結年月日	2001年11月29日				
協定更新年月日	2007年4月24日				
有効期限	2012年4月23日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・福山敬				
締結経緯	本学とカリフォルニア大学バークレー校との交流は、工学部の喜多秀行助教授が1990年に文部省在外研究員として同校で研究活動を行ったことに始まる。以来、1997年から3年間は科学研究費による共同研究、1999年には共同セミナーを開催した。また研究者の派遣及び招へい、資料提供、共同出版等様々な学術交流を重ねてきた。10年余の学術交流の実績を踏まえ、さらに緊密な交流を図ろうという気運が高まり、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	5			
	2011年度	1			
	2012年度				
	2013年度				
2014年度					
2015年度					



# バーモント大学

University of Vermont

国名・地域名	アメリカ合衆国					
住所	89 Beaumont Avenue Burlington, VT 05405, U.S.A					
設置形態	州立					
ホームページ	<a href="http://www.berkeley.edu/">http://www.berkeley.edu/</a>					
協定締結年月日	2014年10月1日					
協定更新年月日	2019年9月30日					
有効期限	2019年9月30日					
覚書締結年月日	なし					
覚書更新年月日	なし					
有効期限	なし					
交換学生数						
中心部局	医学部					
窓口教員	医学部・教授・松浦達也					
締結経緯	2010年3月26日の経営協議会において、学外委員である平井県知事より、鳥取県とも交流の深いバーモント大学が学部間協定となっていることについて、大学間協定へ発展させ交流を深めるよう提案があった。能勢学長からバーモント大学長あての書簡を、訪問中であった木田教授へ渡されたが、途中バーモント大学長の交代等もあり保留となっていた。 2013年12月にバーモント大学医学部病理学の木田教授が豊島学長、福本医学部長を表敬訪問し、現在締結している医学部間協定を発展させて大学間協定とし、両大学が更に交流を深めていくことについて双方の同意が得られたため、今回の締結に至った。					
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数		
		教職員	学生	教職員	学生	
		2014年度		2	1	1
		2015年度		2	2	

# ウォータールー大学

University of Waterloo

国名・地域名	カナダ					
住所	200 University Avenue West, Waterloo, Ontario N2L 3G1, Canada					
設置形態	州立					
ホームページ	<a href="http://www.uwaterloo.ca/">http://www.uwaterloo.ca/</a>					
協定締結年月日	1987年11月16日					
協定更新年月日	2015年9月10日					
有効期限	2020年9月9日					
覚書締結年月日	2004年3月22日					
覚書更新年月日	2015年9月10日					
有効期限	2020年9月9日					
交換学生数	毎年5名以内 ※鳥取大学からの派遣は工学研究科のみ（ウォータールー大学からの受入は学部生）					
中心部局	工学部					
窓口教員	工学研究科・教授・福山敬					
締結経緯	双方の大学の類似した学部・学科の教員の研究交流を通じて、その共通性、有益性から単位互換を目的とした学生交流に発展した。					
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数		
		教職員	学生	教職員	学生	
		～2010年度	23	169	4	100
		2011年度	1	26		3
		2012年度	4	32	1	5
		2013年度	2	24	1	3
		2014年度	4	26	1	4
	2015年度	3	21	1	2	

# ムルシア大学

University of Murcia

国名・地域名	スペイン				
住所	Avda. Teniente Flomesta, n° 5 - 30003-Murcia				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.um.es/">http://www.um.es/</a>				
協定締結年月日	2010年10月21日				
協定更新年月日					
有効期限	2013年10月20日				
覚書締結年月日	2010年10月21日				
覚書更新年月日					
有効期限	2013年10月20日				
交換学生数	毎年2名以内				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・伊藤敏幸				
締結経緯	<p>2003年8月に米国で開催されたシンポジウムにおいて、工学研究科・伊藤敏幸教授とムルシア大学Lozano教授が知り合ったことを契機に、親交が始まった。2009年6月にオーストラリアで開催されたイオン液体国際会議でLozano教授と再会した際、Lozano教授からムルシア大学との学術協定締結の可能性を打診された。2009年12月に、Lozano教授を本学でのGSCセミナーに招聘した際に、学長表敬を行い、本学とムルシア大学との学術交流協定締結について協議を行った。</p> <p>また、本学大学院博士課程所属の学生に対し、海外連携機関での研究体験の義務付けたプログラムを構想中であるため、海外連携機関としてムルシア大学との正式学術交流協定連携を計画した。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	2			
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
2014年度					
2015年度					

# バーリ地中海農学研究所

The Mediterranean Agronomic Institute of Bari (MAI-Bari)

国名・地域名	イタリア共和国				
住所	Via Ceglie, 9 - 70010 VALENZANO (Bari) - ITALIA				
設置形態	国際機関				
ホームページ	<a href="http://www.iamb.it/">http://www.iamb.it/</a>				
協定締結年月日	2011年12月1日				
協定更新年月日	2016年8月17日				
有効期限	2021年8月16日				
覚書締結年月日	2011年12月1日				
覚書更新年月日	2016年8月17日				
有効期限	2021年8月16日				
交換学生数	毎年3名以内				
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	<p>平成18年度に鳥取大学は、国連大学、IRA（乾燥地域研究所、チュニジア）、CAREERI（中国科学院寒区旱区環境工学研究所、中国）、ICARDA（国際乾燥地農業研究センター、シリア）、およびINAT（チュニジア国立農業研究所、チュニジア）との協定を締結した。平成19年度から国連大学他4機関とともに、国際共同修士号プログラム「統合的乾燥地利用に関する共同修士号プログラム」（MSプログラム）を共同で実施している。しかし、平成23年1月からMSプログラムで学生を派遣しているチュニジア、シリアにおいて治安が悪化したため、日本学術振興会より他の国の可能性を検討するようとの指示を受けた。そこで平成23年9月1日～2日に、乾燥地研究センターの恒川センター長、農学部の猪迫准教授、大塚事務職員がMAI-Bariを訪問し、MSプログラムへのCIHEAMの参加の可能性及び鳥取大学との今後の交流に関する打合せを行った。</p> <p>平成23年10月8日に中国で開催されたMSプログラム委員会で、CIHEAMを含む2機関が新たにMSプログラムに加入することが正式に決定し、恒川センター長を中心としたMAI-Bariとの調整により、学術交流協定及び学生交流の覚書を締結することに合意した。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2011年度	2	2		
	2012年度	1	1		
	2013年度		1		
	2014年度	1			
2015年度					



# ローマ第三大学

Roma Tre University

国名・地域名	イタリア共和国				
住所	Via Vito Volterra, 62, 00146 ROMA				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.uniroma3.it/en2/">http://www.uniroma3.it/en2/</a>				
協定締結年月日	2014年11月13日				
協定更新年月日	2019年11月12日				
有効期限	2019年11月12日				
覚書締結年月日	2014年11月6日				
覚書更新年月日	2019年11月5日				
有効期限	2019年11月5日				
交換学生数	4名以内 ※学生交流については、工学研究科限定				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・谷口朋代				
締結経緯	<p>相手大学の対応責任者であるProf. Fabrizio Paolacciは、申請部局の対応教員である谷口が委員長を務める米国機械学会・圧力容器及び配管部門・耐震工学技術委員会への参加会員資格が最近認められた新進気鋭の研究者である。彼らのグループが中心となって、耐震工学関連に従事する主としてEU圏内の学生、研究者及び技術者を対象にした圧力容器に関する講義形式のセミナーを、イタリア共和国にある国際理工学センターで実施することを企画・立案し、谷口も研究室の学生と共に講師の一人として参加する予定となった。（詳細は、「5）今後の交流活動の予定」の項参照）</p> <p>そのような遣り取りをしている中で、谷口から「鳥取大学ではグローバル推進事業に取り組んでおり、グローバル化を通じて学生や教職員の活性化を図ることを考えている。」旨を伝えたところ、Prof. Fabrizioから「ローマ第三大学は、海外大学との学術交流を積極的に進めているので、是非一緒にやりましょう」と快諾を得た。その後、双方の大学で協定の案文について協議した結果、学術交流協定書については鳥取大学の様式を用いることで、学生交流に関する覚書についてはローマ第三大学の様式を用いることで決着し、今回の協定締結に至った。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2014年度				
2015年度		1		1	

# 連邦国家自立高等専門教育機関極東連邦大学

Far Eastern Federal University

国名・地域名	ロシア連邦				
住所	8, Sukhanova street, Vladivostok, Russian Federation				
設置形態	その他（連邦）				
ホームページ	<a href="https://www.dvfu.ru/en/">https://www.dvfu.ru/en/</a>				
協定締結年月日	2015年7月28日				
協定更新年月日	2020年7月27日				
有効期限	2020年7月27日				
覚書締結年月日	2015年7月28日				
覚書更新年月日	2020年7月27日				
有効期限	2020年7月27日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	次世代高度医療推進センター センター長 難波 栄二				
締結経緯	<p>（医学部協定を、大学間協定とするに至った経緯）</p> <p>2014年6月のロシア訪問の際、今後の両大学の展望として相互の学生が両国の医療制度や文化について理解を深め、グローバル社会に適応した人材の育成を図る研修のほか、教育・研究についても交流することなどが話し合われた。</p> <p>極東連邦大学では2014年に医学科のコースが新設されており、今後は両大学間で新たな教育プログラムを展開するなどの方向性を見出した。既に締結している覚書を発展させて大学間協定とし、両大学が更に交流を深めていくことについて双方の同意が得られたため、今回の締結に至った。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2015年度				

# 南バハカリフォルニア自治大学

Autonomous University of Baja California Sur

国名・地域名	メキシコ合衆国				
住所	Km. 5.5, Carretera al Sur, Apdo. Postal 19-B, La Paz, B.C.S. 23080, Mexico				
設置形態	州立				
ホームページ	<a href="http://difusion.uabcs.mx/inicio/index.php">http://difusion.uabcs.mx/inicio/index.php</a>				
協定締結年月日	1996年11月1日				
協定更新年月日	2015年10月30日				
有効期限	2019年10月29日				
覚書締結年月日	2005年12月5日				
覚書更新年月日	2015年10月30日				
有効期限	2019年10月29日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・山本定博				
締結経緯	1990年に発足した国際協力事業団のプロジェクト技術協力「メキシコ沙漠地域農業開発計画」に、本学教員が専門家として、現地に赴き技術供与及び教育研究を行ってきた。同プロジェクトには、南バハカリフォルニア自治大学出身者が多く、本学で研修を受けた者も多い。また、現地にいる本学教員が同大学を訪問するなど、様々な交流が行われてきた。1996年に同大学から、本学との協定締結の要請があり、本学農学部も乾燥地の農業開発研究及び教育をさらに進展させるために是非とも必要であるとの判断で、協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	125	92	7	6
	2011年度	6	19	1	
	2012年度	15	19		
	2013年度	18	17	2	5
	2014年度	6	17		4
2015年度	17	14		1	

# メキシコ北西部生物学研究センター

Center for Biological Research of Northwest Mexico S.C.

国名・地域名	メキシコ合衆国				
住所	Apdo. Postal 128, La Paz, B.C.S. 23090, Mexico				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.cibnor.mx">http://www.cibnor.mx</a>				
協定締結年月日	1998年8月1日				
協定更新年月日	2013年7月22日				
有効期限	2018年7月21日				
覚書締結年月日	2007年6月3日				
覚書更新年月日	2013年7月22日				
有効期限	2018年7月21日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・山本定博				
締結経緯	1990年発足の国際協力事業団プロジェクト「メキシコ沙漠地域農業開発計画」に本学教員が専門家として現地に赴き、研究協力を行った。プロジェクト終了後、暫定的にメキシコ北西部生物学研究センターがプロジェクトの継承機関となり、カウチパート全員がその職員として雇用された。また、本学農学部の藤山教授が同センター学生の博士論文の外国人チューターであり、最高責任者であるエンリケ・トロ博士と親交があった。同センターから本学との協定締結の要請があり、本学としても乾燥地農業開発に関する研究・教育を今後さらに進展させるために締結が必要と判断し、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	232	169	30	2
	2011年度	14	37	1	1
	2012年度	22	36	2	
	2013年度	21	34	2	
	2014年度	10	30		
2015年度	40	27			



# 国立農牧林業研究所

National Institute of Forestry, Agricultural and Animal Research (INIFAP)

国名・地域名	メキシコ合衆国				
住所	Av. Progreso No. 5 Barrio Santa Catarina, Delegación Coyoacán, México D.F. 04010				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.inifap.gob.mx/">http://www.inifap.gob.mx/</a>				
協定締結年月日	2009年3月3日				
協定更新年月日	2014年3月2日				
有効期限	2019年3月1日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	鳥取大学では、農学部、乾燥地研究センターを中心として、バイオ燃料植物として関心の高まっているヤトロファ（ジャトロファとも言う。）の研究を推進している。ヤトロファの原産地はメキシコから中南米と考えられている。メキシコでは法律上、メキシコ国内での調査に加えて遺伝資源の国外への持ち出しには、メキシコの研究機関との学術交流協定の締結を求めており、INIFAPとの協定の締結により、ヤトロファをはじめとする遺伝資源の探索収集、研究が可能となる。そこで、2008年8月に安藤准教授が学術交流協定の締結を前提にINIFAPを訪問し、合意に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	8	3	7	
	2011年度	8		2	
	2012年度	1			
	2013年度	3			
	2014年度	4			
2015年度	2				

# アマゾン国立研究所

National Institute for Amazonian Research, Brazil

国名・地域名	ブラジル連邦共和国				
住所	Avenida André Araújo nº 2936, Petrópolis, Manaus, Brazil				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.inpa.gov.br/">http://www.inpa.gov.br/</a>				
協定締結年月日	2010年12月21日				
協定更新年月日	2015年12月20日				
有効期限	※再締結予定				
覚書締結年月日	2010年12月21日				
覚書更新年月日	2015年12月20日				
有効期限					
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	連合農学研究科				
窓口教員	農学部・教授・前川二太郎				
締結経緯	2006年8月に、本学の松谷廣志客員教授より、グローバルCOEプログラムのきのご類遺伝資源の収集に関する南米における共同研究の可能性のある研究機関としてアマゾン国立研究所を紹介された。2007年9月に、アマゾン国立研究所のNoemia Kazue Ishikawa研究員がきのご資源の栽培利用に関する研究のため、財団法人日本きのごセンター菌叢研究所に滞在の折、アマゾンにおけるきのご類の多様性研究の可能性について情報収集を行い、2010年5月に、鳥取大学農学部の前川教授とアマゾン研究所のNoemia Kazue Ishikawa研究員との間で、交流協定および共同研究に関する覚書等の締結に向けた打ち合わせを行った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度				
	2011年度	2		1	
	2012年度	2			
	2013年度	2			
	2014年度				
2015年度	2				



# 沿岸工科大学

The Coastal Superior Polytechnic School(ESPOL)

国名・地域名	エクアドル共和国				
住所	Km. 30.5 Via Perimetral Avenue 56 No Via Perimetral, Guayaquil, Ecuador				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.espol.edu.ec/">http://www.espol.edu.ec/</a>				
協定締結年月日	2010年11月26日				
協定更新年月日					
有効期限	2015年11月25日 ※再締結予定				
覚書締結年月日	2010年11月26日				
覚書更新年月日					
有効期限	2015年11月25日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	連合農学研究科				
窓口教員	農学部・教授・児玉基一郎				
締結経緯	<p>2007/3/1 農学部児玉教授および東京農工大学有江教授らが、エクアドル（ガラパゴス）における菌類・植物遺伝資源の調査のため、ESPOLを訪問し、共同研究打合せを行った。</p> <p>2008/1/1 同名らが、再度、ESPOLを訪問し、調査および共同研究打合せを行った。</p> <p>2008/10/1 エクアドル国在日大使Javier Ponce（ハビエル・ポンセ）氏が鳥取大学を訪問し、学長、理事および関係者らとエクアドルの大学との学術交流協定に関する意見交換を行った。また、講演会を開催した。</p> <p>2010/3/1 グローバルCOEプログラム「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」の一環として、ESPOLよりPeralta Garcia Esther Lilia博士（ESPOLバイオテクノロジー研究所研究所長）およびSantos Ordonez Efren German博士（同研究員）を鳥取大学に招へいし、セミナー開催、GCOEプログラムに関わる共同研究打合せ、および本学との学術交流協定に関する打合せ会議を開催した。</p> <p>2010年4月以降 ESPOL側と学術交流協定締結に向けた準備を進めた。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	4		3	
	2011年度			1	
	2012年度	1	2		
	2013年度				
2014年度					
2015年度					

# 西オーストラリア大学

The University Of Western Australia

国名・地域名	オーストラリア				
住所	35 Stirling Highway, Crawley, PerthWA 6009, Australia				
設置形態	公立				
ホームページ	<a href="http://www.uwa.edu.au/">http://www.uwa.edu.au/</a>				
協定締結年月日	2016年6月13日				
協定更新年月日					
有効期限	2021年6月12日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	<p>平成28年3月に、国際乾燥地研究教育機構の研究パートナーとして、乾燥地研究の盛んなUWAとの連携を図るため、恒川篤史教授をはじめとする、乾燥地研究センター、工学部、地域学部にも所属する計9名の研究者がUWAを訪問し、Institute of Agriculture所長のSiddique教授、Hipse上級講師らと今後の共同研究についての討議を行い、お互いの関係を強固なものにしていくことで合意した。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2016年度				

# ムスタファ ケマル大学

Mustafa Kemal University

国名・地域名	トルコ共和国				
住所	Atatuek Av., Antakya, Hatay 31040, Turkey				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.mku.edu.tr">http://www.mku.edu.tr</a>				
協定締結年月日	2003年9月2日				
協定更新年月日	2014年4月29日				
有効期限	2019年4月28日				
覚書締結年月日	2015年2月5日				
覚書更新年月日					
有効期限	2019年4月28日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・准教授・馬場芳				
締結経緯	ムスタファ ケマル大学からは、観光及び日本語教育に関する教育・研究交流の希望が寄せられており、地域学部としても、それらを主目的とした交流は望むところであり、国際交流センターとの連携も可能である。地域学部は、従来、北東アジア地域を主な海外交流先としてきたが、地域学部の設置理念からも、より広い交流が必要であった。特に中東地域との交流は、鳥取大学としても貴重であり、国際化を促進するための効果としてその意義は大きい。このような理由から、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	3		3	
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					

# 国際乾燥地農業研究センター

International Center for Agricultural Research in the Dry Areas(ICARDA)

国名・地域名	レバノン				
住所	P. O. Box 5466, Aleppo, Syrian Arab Republic				
設置形態	国際農業研究協議グループ(CGIAR)				
ホームページ	<a href="http://www.icarda.org/">http://www.icarda.org/</a>				
協定締結年月日	2007年3月11日				
協定更新年月日	2012年3月11日				
有効期限	2017年3月10日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	2001年3月に稲永乾燥地研究センター教授がJICAシリア第3国研修事前調査団の団員としてICARDAを訪問したことが交流の始まりである。2002年には21世紀COEプログラムの海外研究教育基地として協力を要請し、その後毎年研究員の派遣や所長の招聘、国際会議の共催など活発な交流がある。2006年8月にMahmoud Mohamed Bachir El-Solh所長をIYDD記念イベント（東京、鳥取）に招聘した際、両機関の連携強化について協議し、学術交流協定締結について合意された。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	32	19	6	
	2011年度	4	3		
	2012年度			2	
	2013年度	1		1	
	2014年度	6	1	2	
2015年度	8		3		

# スーダン農業研究機構

Agricultural Research Corporation

国名・地域名	スーダン共和国				
住所	P. O. Box 126, Wad Medani, Sudan				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.arcsudan.sd/">http://www.arcsudan.sd/</a>				
協定締結年月日	1998年11月1日				
協定更新年月日	2013年10月28日				
有効期限	2018年10月27日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・辻本壽				
締結経緯	スーダン農業研究機構との交流は、1990年に文部省国費外国人留学生として同機構の助手を農学部を受け入れたことに始まる。その後、乾燥地研究センターでも助手を受け入れ、教員等の交流を通して、本学と同機構との間に協定締結の気運が高まり、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	7	1	18	2
	2011年度	3	2		
	2012年度		1	1	
	2013年度	2		1	
	2014年度	2		1	
2015年度	10				

# ハルツーム大学

University of Khartoum

国名・地域名	スーダン共和国				
住所	P. O. Box 321, Post Code: 1115, Khartoum, Sudan				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.uofk.edu/">http://www.uofk.edu/</a>				
協定締結年月日	2010年6月14日				
協定更新年月日	2015年5月11日				
有効期限	2020年5月10日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・山中典和				
締結経緯	連合農学研究科では過去15名のスーダン共和国からの留学生を受け入れ学位を取得している。2010年現在も2名の学生が在籍している。また、農学研究科では過去7名のスーダン共和国からの留学生が修了し、連合農学研究科に進学している。このうち、ハルツーム大学を修了または卒業している学生は10名である。また、乾燥地研究センターではこれまでに数名の教員・研究員がハルツーム大学及びスーダン共和国の2、3の研究所を訪問し、共同研究を行っている。このように、本学はスーダン共和国・ハルツーム大学と緊密な関係を保っている。このような経緯を踏まえ、今後の交流をさらに拡充させるために、2009年秋に乾燥地研究センターに在外研究員として来鳥されたハルツーム大学農学部のProf. Elfadil E. Babiker（連合農学研究科修了生）がハルツーム大学と本学との交流を国際交流センター長に申し入れられ、締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	6		6	
	2011年度			1	
	2012年度	3		1	
	2013年度	4		1	
	2014年度	1		2	
2015年度	11		6		



# 国立水研究センター

National Water Research Center (NWRC)

国名・地域名	エジプト・アラブ共和国				
住所	Fum Ismailia Canal, P.O.Box 74, Shoubra El-Kheima 13411, Egypt				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.nwrc-egypt.org/">http://www.nwrc-egypt.org/</a>				
協定締結年月日	2004年6月1日				
協定更新年月日	2014年6月1日				
有効期限	2019年5月31日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・猪迫耕二				
締結経緯	農学部及び乾燥地研究センターを中心に行っているJICA集団研修コース「乾燥地水資源の開発と環境評価」に2002年度参加の研修員が、国立水研究センター(NWRC)のスタッフで、2003年10月より農学部に留学しており、彼を通じてセンターより協定締結の申し出があり、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	35		7	1
	2011年度	1	1		
	2012年度	2		2	
	2013年度	2			
	2014年度	4			
2015年度	3				

# 乾燥地域研究所

Arid Regions Institute

国名・地域名	チュニジア共和国				
住所	Route de Djorf, km22.5 4119 Medenine, Tunisia				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.ira.rnrt.tn/">http://www.ira.rnrt.tn/</a>				
協定締結年月日	2008年6月17日				
協定更新年月日	2013年6月10日				
有効期限	2018年6月9日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	Houcine Khatteli所長を2004年5月、21世紀COEプログラムワークショップ「鳥取大学と国際機関との連携による砂漠化と闘う人材の育成」に、2006年8月、砂漠と砂漠化に関する国際年イベント「国際シンポジウム“砂漠とともに生きるII－乾燥地科学と現場での取り組み”」に招へいた。2008年2月には、乾燥地研究センター長恒川教授他事務職員2名が訪問し、MSプログラムに関する打合せを行った。これらの交流を経て、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	13	12	2	
	2011年度	3	1		
	2012年度	5	3		
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					

# バハルダール大学

Bahir Dar University

国名・地域名	エチオピア連邦民主共和国				
住所	Bahir Dar University, Bahir Dar, Ethiopia, post box 79				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.telecom.net.et/~bdu/">http://www.telecom.net.et/~bdu/</a>				
協定締結年月日	2008年10月29日				
協定更新年月日	2013年11月15日				
有効期限	2018年11月14日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	乾燥地研究センター				
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・恒川篤史				
締結経緯	2005年8月、バハルダール大学から共同研究の申し入れがアキログ講師にあった。2006年3月、当地の情報をアキログ講師が集め、細井教授と増田助教授と3人で共同研究について話し合いをした。その結果、入手した情報だけでは不足であると判断し、現地を訪問することにした。2006年8月、細井教授、増田助教授及びアキログ講師がバハルダール大学を訪問した。訪問では共同研究の話の中心になっているバハルダール大学の近くにある「タナ湖」とその流域の一部を調査し、教員たちと話し合いをした。そこで、「タナ湖への流入土砂の削減」というテーマで共同研究をする事に合意し、研究の実施に向けて研究計画を検討するとともにバハルダール大学との学術協定を結ぶことに合意した。2007年8月、タナ湖の研究計画について鳥取大学側の検討結果を作成して送付した。2007年9月、鳥取大学側の提案についてバハルダール大学と打合せバハルダール大学が独自の検討を始める。2007年12月、バハルダール大学から進捗状況の報告があった。2008年5月、鳥取大学国際交流基金の援助が決定したので、双方が鳥取での研究情報交換についての準備を開始した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	6		4	
	2011年度	1	1		
	2012年度			1	
	2013年度	5		1	
2014年度	6		1		
2015年度	4	1	1		

# ジョモケニヤッタ農工大学

Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology

国名・地域名	ケニア共和国				
住所	P. O. Box 62000-00200, Nairobi, Kenya				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.jkuat.ac.ke/">http://www.jkuat.ac.ke/</a>				
協定締結年月日	2011年8月29日				
協定更新年月日	2016年8月27日				
有効期限	2021年8月26日				
覚書締結年月日	2011年8月29日				
覚書更新年月日	2016年8月27日				
有効期限	2021年8月26日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	工学研究科				
窓口教員	工学研究科・教授・小出隆夫				
締結経緯	1984年から、JICA研修員としてジョモケニヤッタ農工大学の教員を工学部で受け入れ、その後も工学部を中心に研修員や留学生を受け入れてきた。JICA研修員（長期、短期）、国費留学生など現在までに鳥取大学で学んだジョモケニヤッタ農工大学の教員、技術職員はのべ90名にのぼる。また、これまでJICA専門家としてJKUATの支援を行った鳥取大学の教員も多い。副井裕教授は外務省/JICAの「JKUATプロジェクト国内支援委員会委員」となり、日本政府調査団としてJKUATを訪問、運営指導等を行った。 このような経緯を踏まえ、今後の交流をさらに拡充させるために、2010年8月に副井裕学長補佐他がJKUATを訪問し、R. O. Odhiambo 副学長、機械系工学部長及び電気系工学部長と学術交流協定について意見交換を行った。2011年1月には、若良二副学長・国際交流センター長と田中久隆工学研究科長がJKUATを訪問し、M. O. Imbuga 学長及びE. M. Kahangi 副学長と協議し、協定締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	3			
	2011年度			2	
	2012年度	3			
	2013年度				
2014年度	2				
2015年度	1				

# マケレレ大学

Makerere University

国名・地域名	ウガンダ共和国				
住所	P. O. Box7062 Kampala, Uganda				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://mak.ac.ug/">http://mak.ac.ug/</a>				
協定締結年月日	2012年10月17日				
協定更新年月日					
有効期限	2017年10月16日				
覚書締結年月日	2012年10月17日				
覚書更新年月日					
有効期限	2017年10月16日				
交換学生数	5名以内				
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・准教授・西原英治				
締結経緯	<p>現在、鳥取大学連合農学研究科2年にウガンダ共和国出身の学生が土壌学研究室に属している。彼は、もともと学士をマケレレ大学で卒業しており、その関係上、彼が1年時の時、西原自身が別件でケニア出張の間に1度、ウガンダ共和国、マケレレ大学の農学部を訪問する機会を得た。そして、彼のもともとの教授であるTenywa教授（専攻：土壌学）にお会いすることができ、鳥取大学農学部として東アフリカに教育・研究拠点を構築したいという将来構想の話をしてもらったのが最初の交流の発端である。この話し合いの時、マケレレ大学も日本の大学と教育・研究の交流をしたいという意向があったことから、両者の意見が一致した。さらに、Tenywa教授は、農学部の教授と同時にマケレレ大学のMUARIKの所長でもあり、交換留学制度の担当教官であることも明らかとなった。</p> <p>このため、帰国後もメールにて密に連絡を取り合い、今後の鳥取大学とマケレレ大学の交換留学制度および共同研究の構築について話し合いをしてきていた。その後、今年2012年7月にマケレレ大学に再度訪問し、学長、農学部長およびいろいろな専門分野の教授と教育・研究の打ち合わせを行い、鳥取大学サイドとしての研究内容案のプレゼン等を1時間30分ほど行い、マケレレ大学が5年間計画で掲げている方向性と一致したため、まずは両大学で学術交流および学生交流協定を結び、教育・研究に対してお互いのスキルアップを目指す方向性に至った。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2011年度				
	2012年度	2		1	
	2013年度	7	3		
	2014年度	3	3	3	
2015年度	4	9			



# 校締結協定間局部

# 延世大学校原州医科大学

Wonju College of Medicine, Yonsei University

国名・地域名	大韓民国				
住所	162 Ilsandong, Wonju, Republic of Korea 220-701				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.yonsei.ac.kr/">http://www.yonsei.ac.kr/</a>				
協定締結年月日	2009年11月26日				
協定更新年月日	2014年10月14日				
有効期限	2019年10月13日				
覚書締結年月日	2011年3月22日				
覚書更新年月日	2014年10月14日				
有効期限	2019年10月13日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学系研究科・教授・汐田剛史				
締結経緯	2009年4月に、北東アジア産業技術交流のため、韓国の江原道知識産業課の課長や延世大学の教授など6名が鳥取大学をはじめ鳥取県内の機構を訪問した。鳥取大学医学部訪問時には、韓国訪問団から医学分野における共同研究や研究交流プログラムの開発等について要望があり、本学としても前向きに検討することとなった。また、2009年6月には本学大学院医学系研究科の押村教授が延世大学を訪問し、相互の大学において交流することで、「鳥取バイオイノベーション」プロジェクトや「原州先端医療複合団地」プロジェクトを実現するための研究開発協力や交流の推進を図ることを含めて、今後、共同研究を進めていくこととなった。これらの交流を経て、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	9		7	4
	2011年度		3	1	
	2012年度	8			3
	2013年度				1
	2014年度				3
2015年度				1	

# 大連理工大学機械工程学院

School of Mechanical Engineering, Dalian University of Technology

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	遼寧省大連市凌工路2号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.dlut.edu.cn/">http://www.dlut.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2007年3月24日				
協定更新年月日	2012年3月24日				
有効期限	2017年3月23日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	工学研究科				
窓口教員	工学研究科・教授・佐藤昌彦				
締結経緯	2003年9月、研究生として工学部で受け入れた同学院卒業の留学生が、工学研究科博士前期課程機械工学専攻に進学し、その学生を通して、2006年6月に同学院から鳥取大学工学部と学術交流を希望していると連絡を受けた。同年9月21日、大連理工大学機械工程学院を田中久隆工学部教授らが訪問し、同学院副院長 Wang Dianlong 教授らと協議し、学部生、大学院生及び教員の交流等の推進のため学術交流協定締結を合意した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度				
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					

# 厦門大学 人文学院

Xiamen University

国名・地域名	中華人民共和国				
住所	中華人民共和国福建省厦门市思明区思明路422号				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://rwxy.xmu.edu.cn/">http://rwxy.xmu.edu.cn/</a>				
協定締結年月日	2015年7月6日				
協定更新年月日	2015年7月6日				
有効期限	2020年7月5日				
覚書締結年月日	2015年7月6日				
覚書更新年月日	2015年7月6日				
有効期限	2020年7月5日				
交換学生数	毎年3名以内				
中心部局	地域学部				
窓口教員	地域学部・講師・柳 静我				
締結経緯	2014年9月、地域文化学科の柳は厦門大学人文学院で開催された国際会議に参加した際、人文学院の副院長兼中文学科教授である李曉紅先生と学生交流・教員交流に関する意見交換を行った。その後、厦門大学人文学院と連絡を取りながら、中国語・中国文化プログラムを作成した。2015年3月1日から12日まで地域文化学生5人、引率教員1人がプログラムに参加した。今後、持続的な運営が期待される。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2015年度	4	11	3	9

# バンドン工科大学リモートセンシングセンター

Center for Remote Sensing, Institute Technology Bandung

国名・地域名	インドネシア共和国				
住所	Gedung LabTek IX-C, Lantai-3 Jl. Ganesha 10, Bandung 40132, Indonesia				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.itb.ac.id/">http://www.itb.ac.id/</a>				
協定締結年月日	2010年12月21日				
協定更新年月日	2015年12月20日				
有効期限	※現在更新手続き中				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	農学部				
窓口教員	農学部・教授・長澤良太				
締結経緯	2008年度、農学部・長沢教授に対し、長沢教授と旧知の仲であったバンドン工科大学准教授Dr. Ketut Wikantikaより、日本の新しい資源探査衛星「だいち」のインドネシアにおける利用可能性調査の打診があり、共同研究プロジェクトを立ち上げた。その後、長沢教授委託研究による財源を得て、2009年度に3回のインドネシアでの現地調査と1回の現地セミナーを開催した。また、Ketut氏もインドネシア国内等の研究支援金の獲得に成功している。 こうした過程を経て個人的な協力プロジェクトから前進させて、組織間での協定関係を結び、双方の学術交流をより緊密なものにしていくという合意に至った。				
交流状況		派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	1	4		
	2011年度	1			
	2012年度	1			
	2013年度				
	2014年度	1			
2015年度					



# パダン州立大学

State University of Padang

国名・地域名	インドネシア共和国				
住所	Jalan Prof. Dr. Hamka, Komplek Fakultas Teknik UNP, West Sumatra 25131				
設置形態	州立				
ホームページ	<a href="http://www.unp.ac.id/">http://www.unp.ac.id/</a>				
協定締結年月日	2015年5月2日				
協定更新年月日					
有効期限	2020年5月1日				
覚書締結年月日					
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・准教授・小野祐輔				
締結経緯	パダン州立大学側の対応教員であるRusnardi Rahmat Putra博士は、本学側の対応教員である小野祐輔が京都大学大学院工学研究科在職時、所属する研究室の博士後期課程の留学生であった。当時Rusnardi博士は、博士論文としてインドネシア・パダンにおける地震動推定について研究しており、小野も共同研究者であった。小野が本学に異動後も共同研究を続け、2011年に本学学生と共にパダンにおいて現地調査を実施した。Rusnardi博士は博士後期課程修了後、2013年にパダン州立大学の教員として着任したため、小野から本学学生とパダン州立大学学生による地震工学に関する合同セミナーの開催を呼びかけ、2014年9月にパダン州立大学において実施した。この合同セミナーには、100名を超えるパダン州立大学の学生が出席し、我が国並びに鳥取大学に対する関心が極めて高いことが伺われたため、Rusnardi博士と小野とで今後も定期的に合同セミナーの開催を目指すことで合意した。さらに、定期的な合同セミナーを開催し、さらには相互の教員と学生の交流を推進するためには、学術交流協定の策定が必要であるとの認識で一致した。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2015年度				

# サンラサロ病院

San Lazaro Hospital

国名・地域名	フィリピン共和国					
住所	Quiricada St., Sta Cruz, Manila, MM, Philippines					
設置形態	国立					
ホームページ	<a href="http://sanlazaro-hospital.com/">http://sanlazaro-hospital.com/</a>					
協定締結年月日	2012年3月28日					
協定更新年月日						
有効期限	2017年3月27日					
覚書締結年月日	2012年3月28日					
覚書更新年月日						
有効期限	2017年3月27日					
交換学生数	毎年10名以内（学生及び医療スタッフ）					
中心部局	医学部					
窓口教員	医学部・教授・景山誠二					
締結経緯	鳥取大学医学部関係者との共同研究は2000年から始まり、エイズや血液媒介感染症対策のための研究が現在も進行中である。共同研究のために年間3-4回の訪問を行う際、輸入感染症医療の実地研修の場として学生を参加させたいとの意向をサンラサロ病院の病院長・教育部門の責任者に伝えたところ、組織間協定を締結して定期的な活動にしたらどうかとの回答を得、双方の機関で協定締結に向け準備を進めることになった。					
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数		
		教職員	学生	教職員	学生	
		2012年度	3	3	1	
		2013年度	3	5	1	
		2014年度	3	5		
2015年度	5	5				

# ティルガンガ眼科研究所

Tilganga Institute of Ophthalmology

国名・地域名	ネパール連邦民主共和国				
住所	Gaushala, Bagmati Bridge, Kathmandu, Nepal				
設置形態	その他				
ホームページ	<a href="http://www.tilganga.org/">http://www.tilganga.org/</a>				
協定締結年月日	2015年11月16日				
協定更新年月日					
有効期限	2020年11月15日				
覚書締結年月日	2015年11月16日				
覚書更新年月日					
有効期限	2020年11月15日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学部・教授・井上 幸次				
締結経緯	飽浦淳介次世代高度医療センター特任教授が長年にわたってネパールの眼科医療に貢献してきた関係で、2014年12月に鳥取大学眼科からも井上幸次教授、佐々木慎一助教、飽浦淳介特任教授、エリザ特任助教がネパールを訪問し、いくつかの眼科施設を見学した。その中で、ティルガンガ眼科研究所が、症例が豊富で、医療機器や医師のアメニティが充実しているなど、すぐれた医療施設であることがわかり、有意義な交流が可能であると確認され、双方の機関で協定締結に向け準備を進めることになった。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
		2015年度	1		

# ルンビニ眼研究所

Lumbini Eye Institute

国名・地域名	ネパール連邦民主共和国				
住所	Siddharthanagar-3 Rupandehi 32901, Lumbini, Nepal				
設置形態	その他				
ホームページ	<a href="http://www.lei.org.np/">http://www.lei.org.np/</a>				
協定締結年月日	2015年11月15日				
協定更新年月日					
有効期限	2020年11月14日				
覚書締結年月日	2015年11月15日				
覚書更新年月日					
有効期限	2020年11月14日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学部・教授・井上 幸次				
締結経緯	飽浦淳介次世代高度医療センター特任教授が長年にわたってネパールの眼科医療に貢献してきた関係で2014年7月にルンビニ眼研究所のサルマ医師、アルジュン医師が鳥取大学を訪れ、眼科を含めて施設を見学した上で、ルンビニ眼研究所との学術交流を求めた。それを受けて、2014年12月に鳥取大学眼科からも井上幸次教授、佐々木慎一助教、飽浦淳介特任教授、エリザ特任助教がルンビニ眼研究所を訪問し、症例の豊富さ、真摯な診療姿勢をつぶさに見て、有意義な交流が可能であると確認され、双方の機関で協定締結に向け準備を進めることになった。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
		2015年度	1		



# B. P. コイララ健康科学大学

B.P. Koirala Institute of Health Sciences (BPKIHS)

国名・地域名	ネパール連邦民主共和国				
住所	Buddha Road, Dharan 56700, Kathmandu				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.bpkis.edu/">http://www.bpkis.edu/</a>				
協定締結年月日	2016年1月11日				
協定更新年月日	2021年1月10日				
有効期限	2021年1月10日				
覚書締結年月日	2021年1月11日				
覚書更新年月日	2021年1月10日				
有効期限	2021年1月10日				
交換学生数	毎年5名以内				
中心部局	医学部				
窓口教員	医学部・特任教授・鮑浦 淳介				
締結経緯	鳥取大学が海外、特にアジア地域での交流先を探しており、エリザ特命助教から、知り合いであるコイララ先生（BPKIHS 元副学長）へその旨を相談した。その際、現在、コイララ先生が所属する全インド医科大学（AIIMS）の情報を聞き、2014年4月にエリザ特命助教、古賀特命准教授（次世代高度医療推進センター）がAIIMSおよびBPKIHSの両機関を訪問し、各機関の関係者と面談を行った。次世代高度医療推進センターで行っている機器開発、発明学などのプレゼンを行ったところ内容に大変興味深く受け止められ、鳥取大学へ研究者、学生等の受け入れなどの交流を深めたいと、本学との協定締結について強い要望があった。今後は交流を密に行い、学生交流を含め連携を更に深めることについて双方の同意が得られたため、今回の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2015年度				

# フィンランド国立技術研究所

VTT Technical Research Center of Finland

国名・地域名	フィンランド共和国				
住所	TIETOTIE 2 Espoo, FI-02044 VTT, Finland				
設置形態	国立				
ホームページ	<a href="http://www.vtt.fi/index.jsp">http://www.vtt.fi/index.jsp</a>				
協定締結年月日	2007年9月28日				
協定更新年月日	1年ごとの自動更新				
有効期限	1年ごとの自動更新				
覚書締結年月日	2007年9月28日				
覚書更新年月日	1年ごとの自動更新				
有効期限	1年ごとの自動更新				
交換学生数	3名以内				
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・永野真吾				
締結経緯	ヘルシンキ工科大学にて在外研究員として食品工学研究に従事していた工学部吉井英文准教授が、鳥取大学赴任後も日本フィンランド科学技術協力として、ヘルシンキ工科大学及びVTTの生物工学研究所と十数年共同研究を実施してきた。最近では機能性食品開発に関して2報の論文を発表しており、この日本フィンランド科学技術協力により、10数報の論文を発表している。2003年に、工学部古田武教授、吉井英文准教授が、VTT生物工学研究部門との共同研究について協議するためVTTを訪問した際、学生のインターシップを依頼し、その協議のため、2004年VTT食品工学研究部門のピルッコ・フォセル博士が鳥取大学工学部を1週間訪問した。本年度、VTTの生物工学部門との共同研究および学生交流協定を結ぶため、VTT食品工学のトップ教授カイサ・ポウタネン教授が、鳥取大学工学部を訪問し、交流協定の詳細について協議し、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	1			
	2011年度				
	2012年度				
	2013年度				
	2014年度				
2015年度					



# アストン大学工学応用科学部

School of Engineering and Applied Science, Aston University

国名・地域名	連合王国				
住所	Aston Triangle, Birmingham B4 7ET, United Kingdom				
設置形態	公立				
ホームページ	<a href="http://www1.aston.ac.uk/">http://www1.aston.ac.uk/</a>				
協定締結年月日	2009年8月17日				
協定更新年月日	2014年9月15日				
有効期限	2019年9月14日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	工学部				
窓口教員	工学研究科・教授・藤村薫				
締結経緯	1994年11月に藤村教授がバーミンガム大学を訪問した際に、当時数学科講師のジェネラリス博士と情報交換を行ったのをきっかけに、継続的に理論流体力学に関する情報交換を行ってきた。その後アストン大学に移ったジェネラリス博士は2001年1月、2004年12月、2006年8月、2008年7月に本学を短期間訪問し、セミナー講演、情報交換、共同研究等を実施し、また研究室の学生指導にも当たってきた。藤村教授は、2007年8月に約10日間、2008年8月にも約10日間、アストン大学から招へいを受けて渡英し、同博士と共同研究を遂行すると共に先方の研究室学生の指導に当たった。これらの交流を経て、学術交流協定の締結に至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	～2010年度	2		4	
	2011年度	1	1		
	2012年度	1	1		
	2013年度	2	5		
2014年度					
2015年度					

# バレンシア工科大学工業化学研究所

Instituto de Tecnologia Quimica, Universidad Politecnica de Valencia

国名・地域名	スペイン国				
住所	Av. Los Naranjos s/n, 46022 Valencia				
設置形態	州立				
ホームページ	<a href="http://www.upv.es/index-en.html">http://www.upv.es/index-en.html</a>				
協定締結年月日	2013年5月10日				
協定更新年月日	なし				
有効期限	2018年5月9日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	工学研究科				
窓口教員	工学研究科・教授・片田直伸				
締結経緯	本学の丹羽幹名誉教授とITQのAvelino Corma教授はゼオライト触媒の世界を代表する研究者として親交が深く、またCormaのグループ出身でいまはITQ内で独立したグループを率いているGerman Sastre博士(tenured scientist)と丹羽名誉教授、本学工学研究科の片田直伸教授は2005年以来、共同研究を行っている。ゼオライトの活性点の酸性質の測定を鳥取大学で行い、理論計算をITQで行い、ちょうどよく補完しあって研究が進行しており、既に共同で出版した論文が8本にのぼる。Sastre、片田はお互い訪問しあったこともあるが、この共同研究をさらに発展させ、本学工学研究科内の他の分野の共同研究も促進し、また携わる学生のグローバルな教育にも活用するため、交流協定を結ぶ運びとなった。特に本学の大学院生をITQに派遣して研究指導を受け、研究と教育の双方の発展を期待している。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2012年度				
	2013年度		1		
	2014年度				
2015年度	2	1	2		

# 太平洋国立医科大学

Pacific State Medical University

国名・地域名	ロシア連邦					
住所	2, Ostryakov Avenue, Vladivostok, Russian Federation					
設置形態	国立					
ホームページ	<a href="http://www.vsmu.net/">http://www.vsmu.net/</a>					
協定締結年月日	2014年10月27日					
協定更新年月日	2019年10月26日					
有効期限	2019年10月26日					
覚書締結年月日	2014年10月27日					
覚書更新年月日	2019年10月27日					
有効期限	2019年10月27日					
交換学生数	毎年5名以内					
中心部局	医学部					
窓口教員	医学部・教授・難波栄二					
締結経緯	2014年6月のロシア訪問の際、今後の両大学の展望として相互の学生が夏休み等を利用し、両国の医療制度や文化について理解を深め、グローバル社会に適応した人材の育成を図る研修を実施することなどが話し合わせ、この度締結した覚書を発展させて部局間協定とし、両大学が更に交流を深めていくことについて双方の同意が得られたため、今回の締結に至った。					
交流状況	派遣・受入状況	教職員		学生		
		2014年度	10	2	4	
		2015年度	2	2	1	3

# ライス大学工学部

The George R. Brown School of Engineering, Rice University

国名・地域名	アメリカ合衆国				
住所	6100 Main, Houston, Texas 77005-1892				
設置形態	私立				
ホームページ	<a href="http://www.uvm.edu/">http://www.uvm.edu/</a>				
協定締結年月日	2014年9月24日				
協定更新年月日	2019年9月23日				
有効期限	2019年9月23日				
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限	なし				
交換学生数					
中心部局	工学研究科				
窓口教員	工学研究科・教授・李相錫				
締結経緯	2013年7月4日にライス大学工学部電気電子工学科のJun-ICHIRO KONO教授とSarah Phillipsさんが本学工学部を訪問し、ライス大学の紹介を行った。また、研究インターンシップを含む留学生の現状及び制度などの紹介もあり、ライス大学への留学を呼びかけた。今後本学工学部とは、まず研究インターンシップなどの短期留学を通して交流を図りたいとの旨があった。当時、本学工学部からは河田工学部長、後藤副学部長及びライス大学との交流に興味をもつ教員と学生が参加され、ライス大学での生活や短期留学について質疑応答を行った。そこで、工学部電気電子工学科のマイクロデバイス研究室で行っている研究テーマ（メタマテリアルとTHz技術）は来学したKono教授の研究テーマとも合致したこともあり、まず2014年夏休みの間に博士前期課程の学生を1名2ヶ月間研究インターンシップとして派遣したいとの意志表明があり、今後協定締結と財源確保に努力することに合意した。 2013年11月に電気電子工学科李（相）教授から日本学生支援機構（JASSO）に応募された「アメリカライス大学での短期研究（研究型）プログラム」が採択され、奨学金の確保ができ、平成26年8月5日から10月5日まで博士前期課程学生1名がライス大学に研究インターンシップに行くことが決まった。 上記の経緯により、派遣する学生の支援、今後の交流連携の拡大強化のため協定を締結することに至った。				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
		2014年度		1	
2015年度	4	3			



# サイモンフレイザー大学応用科学部

Simon Fraser University Faculty of Applied Sciences

国名・地域名	カナダ				
住所	8888 University Drive, Burnaby, BC, Canada V5A 1S6				
設置形態	州立				
ホームページ	<a href="https://www.sfu.ca/fas.html">https://www.sfu.ca/fas.html</a>				
協定締結年月日	2016年9月21日				
協定更新年月日	2021年9月20日				
有効期限					
覚書締結年月日	なし				
覚書更新年月日	なし				
有効期限					
交換学生数					
中心部局	工学研究科				
窓口教員	工学研究科・教授・李相錫				
締結経緯	<p>本件の窓口教員である工学部李教授は平成27年度から工学部のグローバル人材育成推進タスクフォース委員として、平成27年度と28年度に国際化拠点整備事業のなかで「北米の大学における語学研修及び研究インターンシッププログラムの開発事業」を提案し、採択され、事業を担当している（カナダの大学を対象にした事業は福山先生とも共同で遂行中）。その事業の一環として北米特にカナダにおいて語学研修や研究インターンシップなどの交流が可能な大学を増やすため、2016年2月17日にカナダバンクーバー所在のサイモンフレイザー大学を訪問した。その際にサイモンフレイザー大学の副応用科学部長（国際交流担当）Mirza Faisal Beg教授、窓口教員Bonnie Gray教授、国際交流担当事務局員Karen Lee氏に本学を紹介し、本学工学部との国際交流及び研究インターンシップ学生の交換可能性について打診した。その後、交流に関する協定書（案）を提案し、内容について議論を重ねた結果、2016年9月21日にサイモンフレイザー大学でレターオブインテント（同意書）を締結することになった。</p>				
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数	
		教職員	学生	教職員	学生
	2016年度				

# エルサレム・ヘブライ大学ロバートH. スミス農業食料環境科学部

Hebrew University of Jerusalem

国名・地域名	イスラエル国					
住所	Mt. Scopus, Jerusalem 91905, Israel					
設置形態	私立					
ホームページ	<a href="http://www.huji.ac.il/huji/eng/">http://www.huji.ac.il/huji/eng/</a>					
協定締結年月日	1992年6月1日					
協定更新年月日	2012年6月1日					
有効期限	2017年5月31日					
覚書締結年月日	なし					
覚書更新年月日	なし					
有効期限						
交換学生数						
中心部局	乾燥地研究センター					
窓口教員	乾燥地研究センター・教授・藤巻晴行					
締結経緯	<p>1991年1月にヘブライ大学のスナピール農学部長から「同じ乾燥地農業の研究センターを持つ大学同士で交流協定を結んでは、と駐日大使館が進言してくれた。」という打診を受け、同年8月に矢野乾燥地研究センター長がイスラエルを訪問。その後両大学で交流協定について検討し締結の合意に達した。</p>					
交流状況	派遣・受入状況	派遣人数		受入人数		
		教職員	学生	教職員	学生	
		～2010年度	7	2	6	
		2011年度				
		2012年度	1			
		2013年度	1		1	
		2014年度	1			
2015年度						